

300971-000-9

特71-497

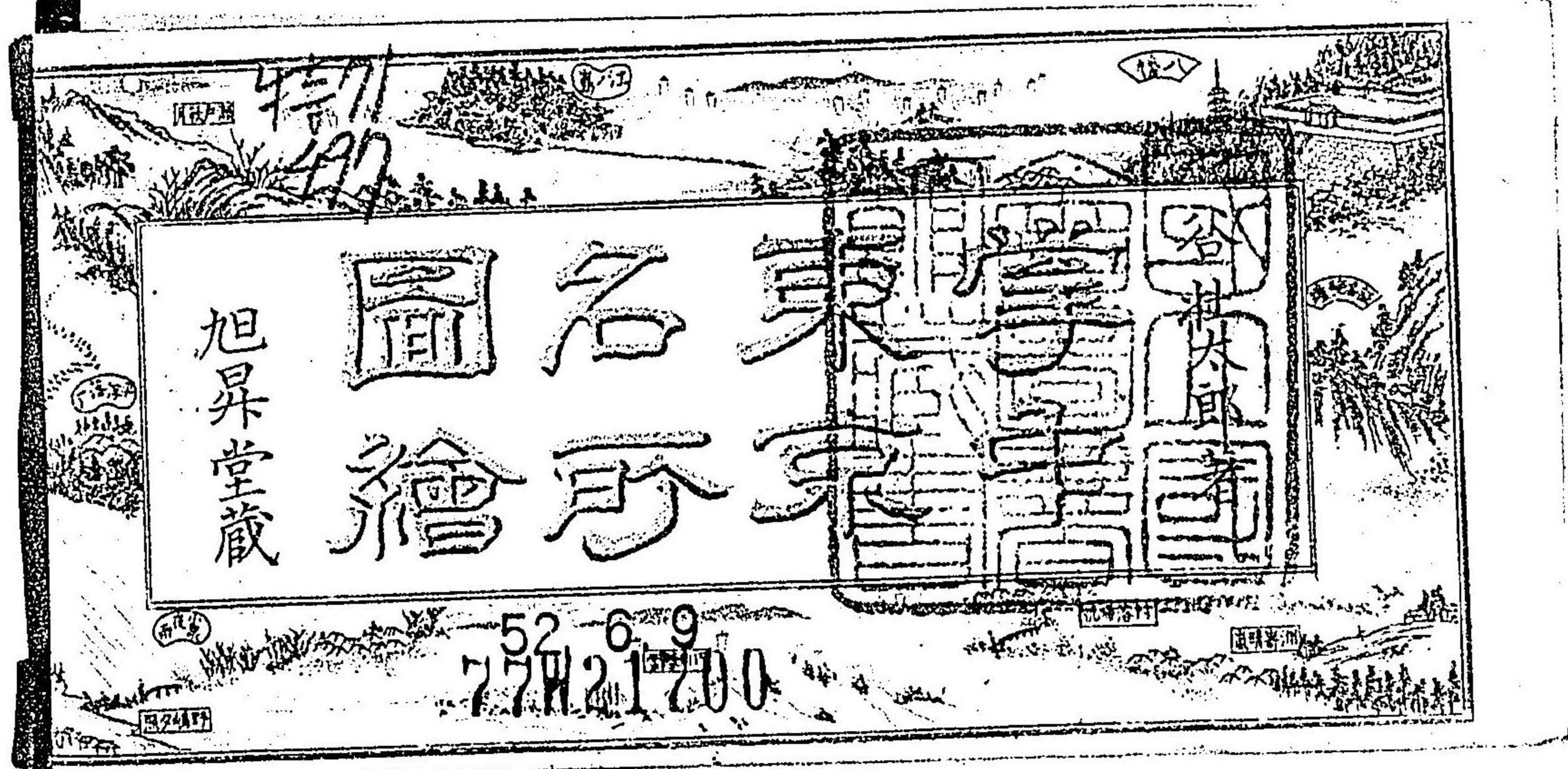
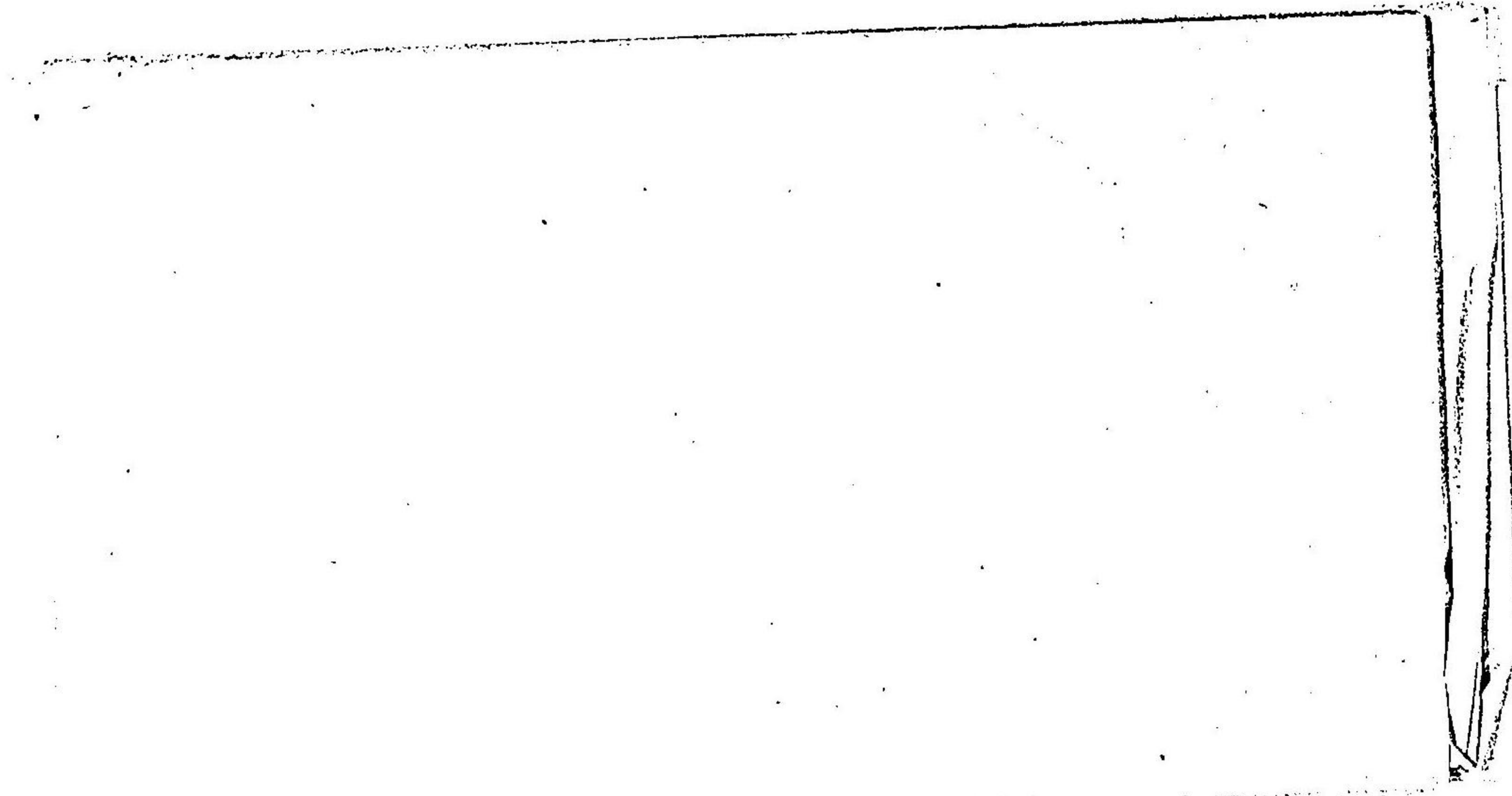
東京名所圖繪 ( 掌中 )

谷 壯太郎 / 著

M17.4

ACB-0018





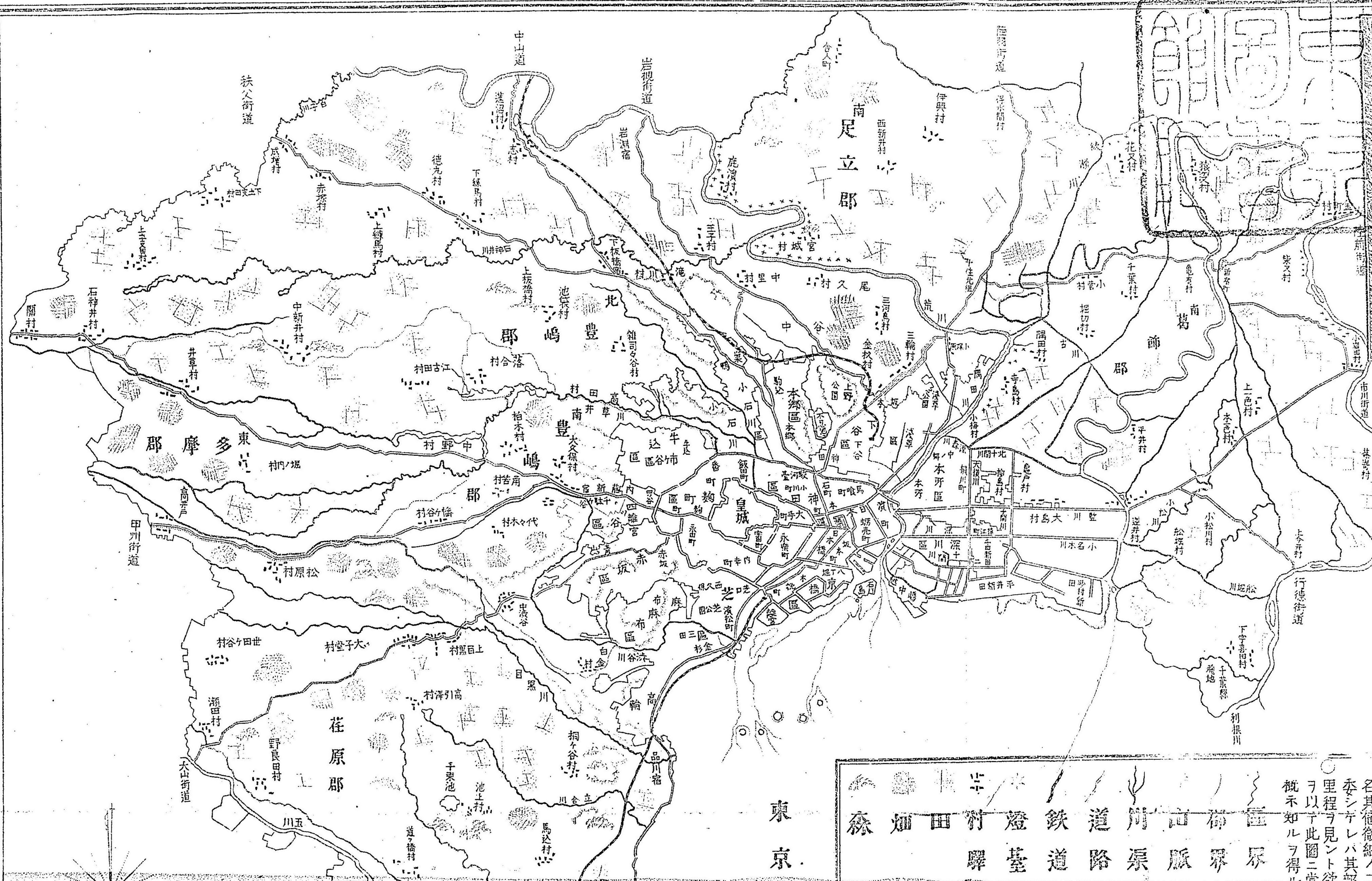
物  
47

旭昇堂藏

東坡先生  
東坡先生

52-6-9  
7721700

# 東京全圖

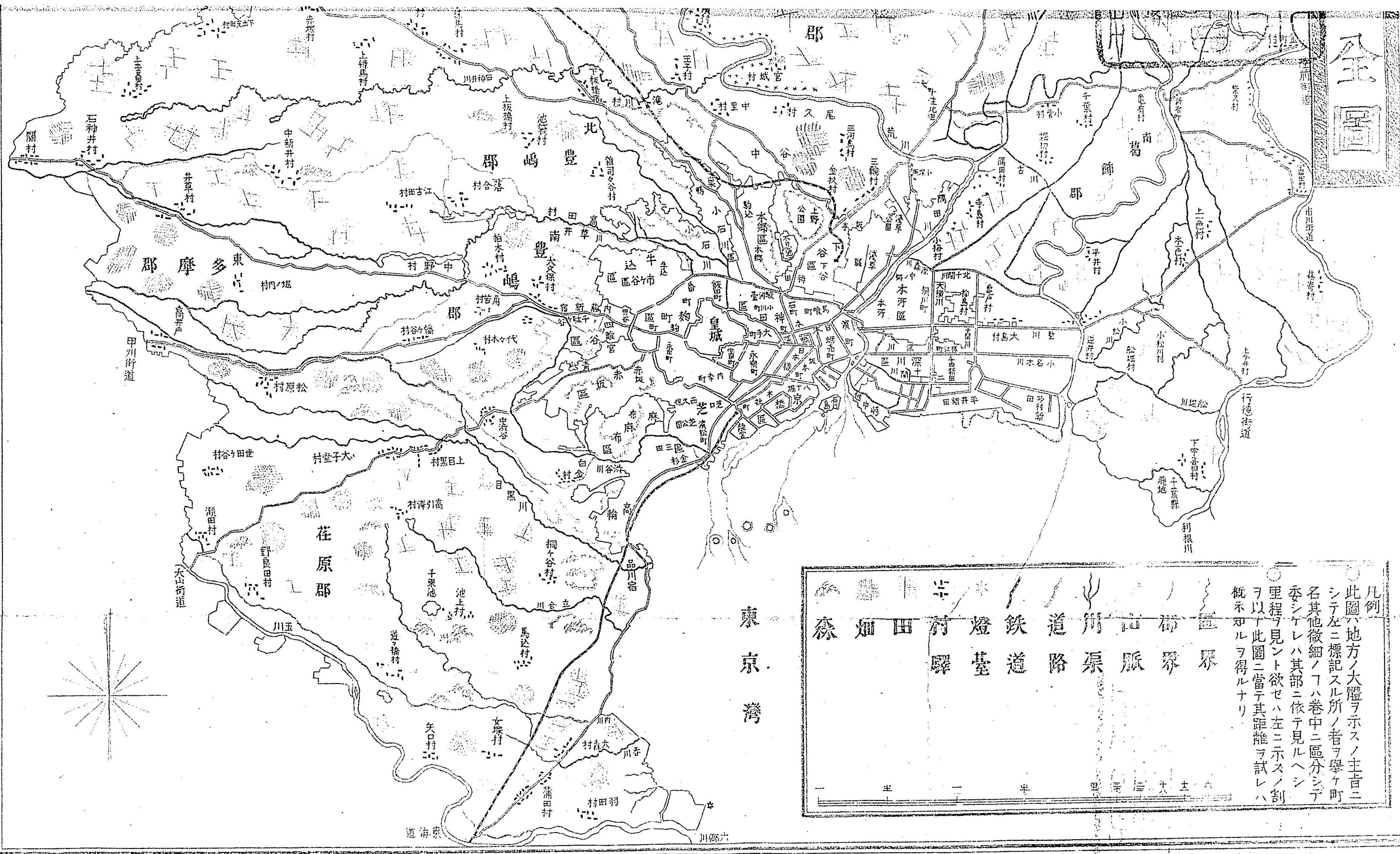


東京

凡例  
此圖ハ地方ノ大シテ左ニ標記ス名其他微細ノト委シテ見レハ其部ヲ以テ此圖ニ當概不知ルヲ得ル

○ 山脈  
○ 川  
○ 道路  
○ 燈臺  
○ 村  
○ 田  
○ 森

# 全圖



凡例  
 此圖ハ地方ノ大體ヲ示スノ主旨ニシテ左ニ標記スル所ノ者ヲ擧ゲテ名其他微細ノ一ハ巻中ニ區分シテ委シケレハ其部ニ依テ見ルヘシ  
 里程ヲ見ント欲セハ左ニ示スノ割ヲ以下此圖ニ當テ其距離ヲ試レハ概示知ルヲ得ルナリ

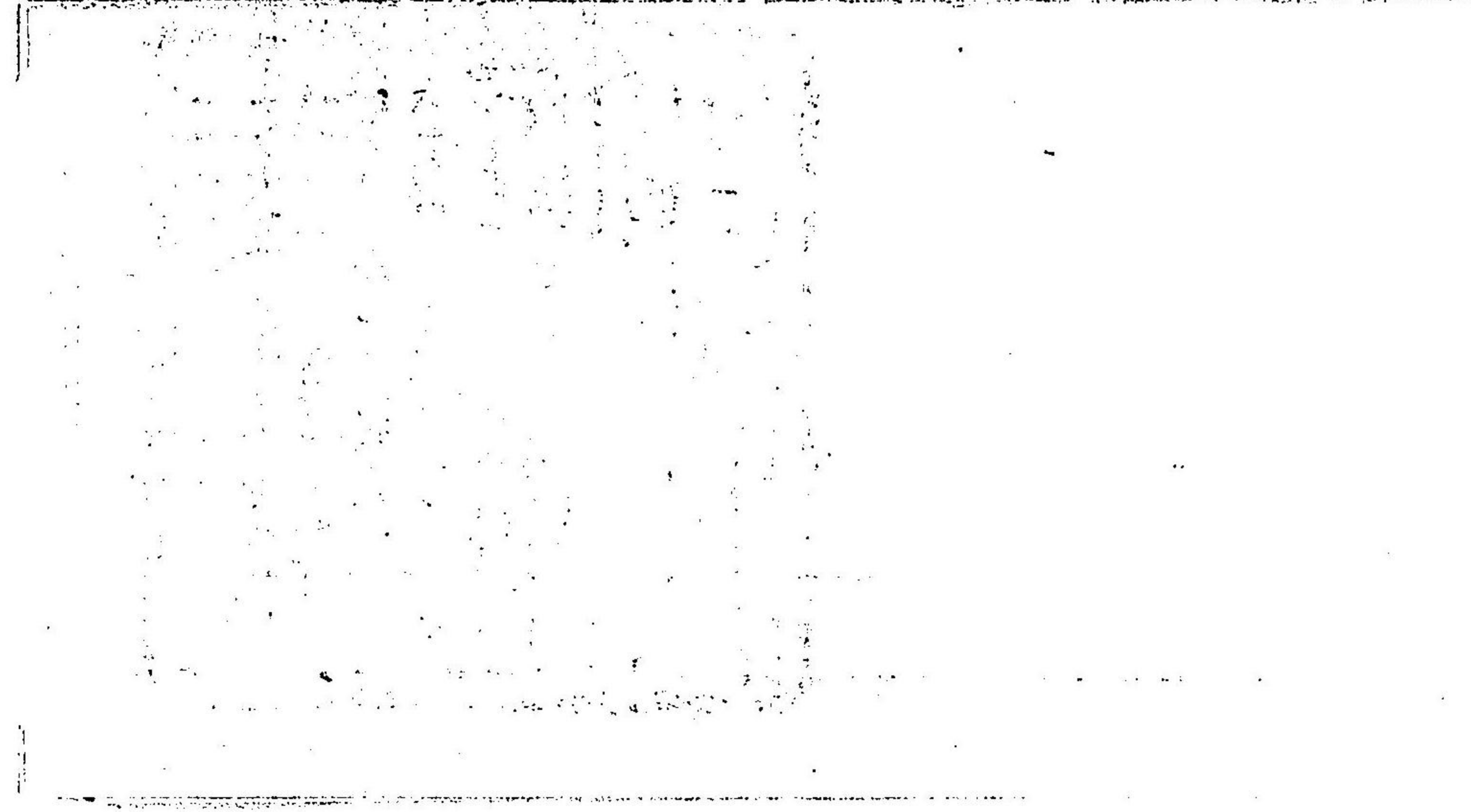
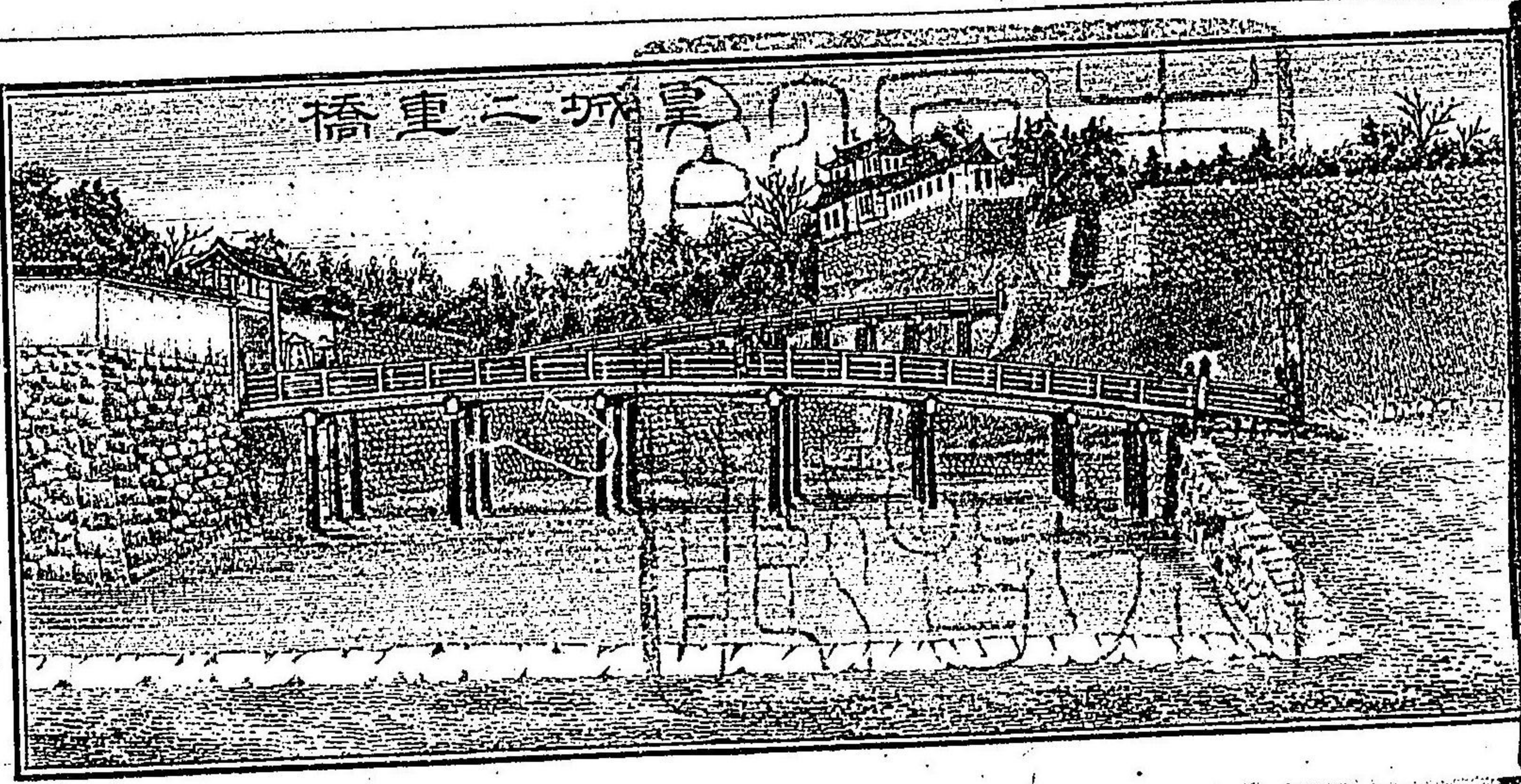
山 郡界 川 渠 道路 鐵道 燈臺 村 田 畑 森

一 半 一 半 里 三 三 六

東京灣

道海東 川郎六

東京名所圖繪口画



凡例

一東京名所遊覽の路案内なれば行李の都合を謀り極を簡約と主として名所古跡の内有名なるもの而已に集む

一遊覽の路順を日本橋より始むることとし、とまらぬ似たなまじり東京府中を総て徘徊すべし中央より螺旋形に探り、北よりに依り糺町區とを筆を起し南葛飾郡に至りて閉む

一行文の卑陋なるハ事の解し易きは言を文字を後ずし婦人小子も讀易らんと欲すれりなり

一所々訓と字旁を付せしハ猶讀易らざりて憂ひ一減あり

一往々郡内の名所と區内を認め區内の名所を郡内と認めしを遊覽の都合然らざるを得ざるものあればなり

一廣き東京府中の名所古跡を斯る小冊子へ輯めしを定く脱漏も多かるる一併し江戸名所圖繪江戸鹿子江戸砂子東京繁昌記東京名勝志東京開化繁昌誌東京往來等の諸書を參考して著せしあり

明治甲申四月

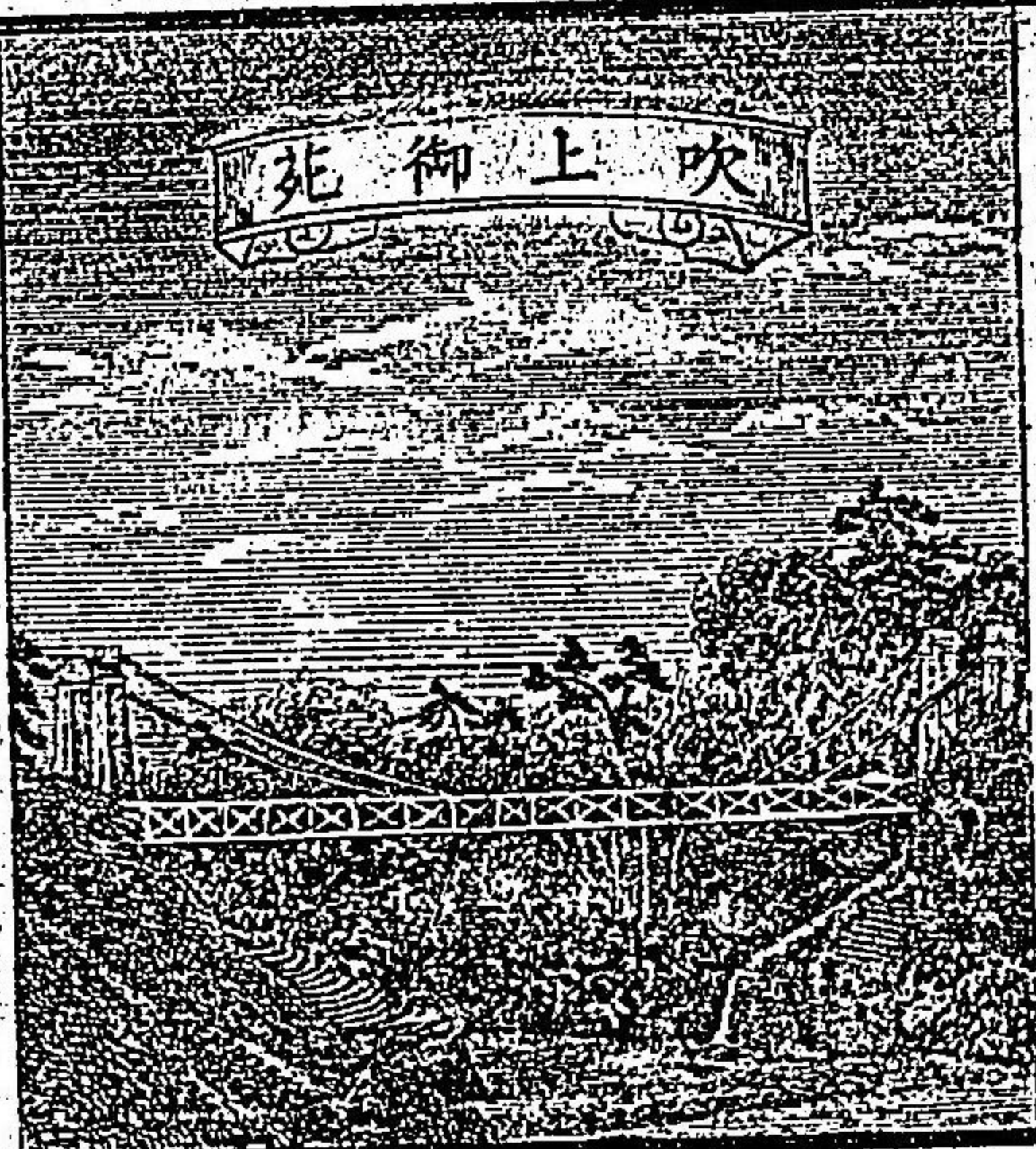
著者述

○東京名所圖繪

谷 壯太郎著

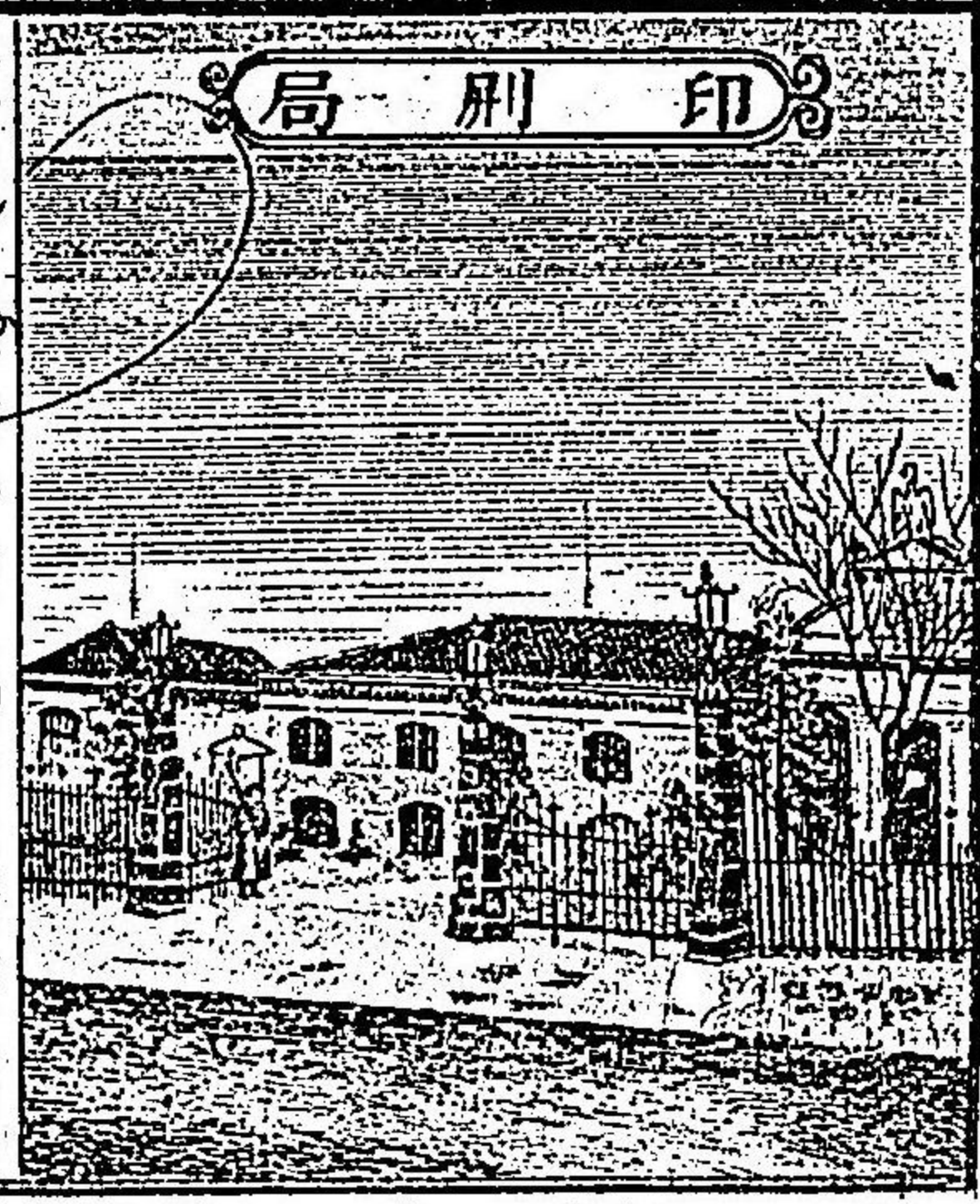
糺町區

此區を一府の真中として皇城の四周を占む雉子橋外飯田町を除くの外四方外濠を以て界とす○皇城ハ周圍二十町十五間余にして其縁故を尋む人皇百二代後花園帝の御宇兼倉管領上杉の老臣太田道灌の居城かり道灌諱言小遣し後上杉定政の所有とふ又氏綱氏康氏政氏直の所有とふ



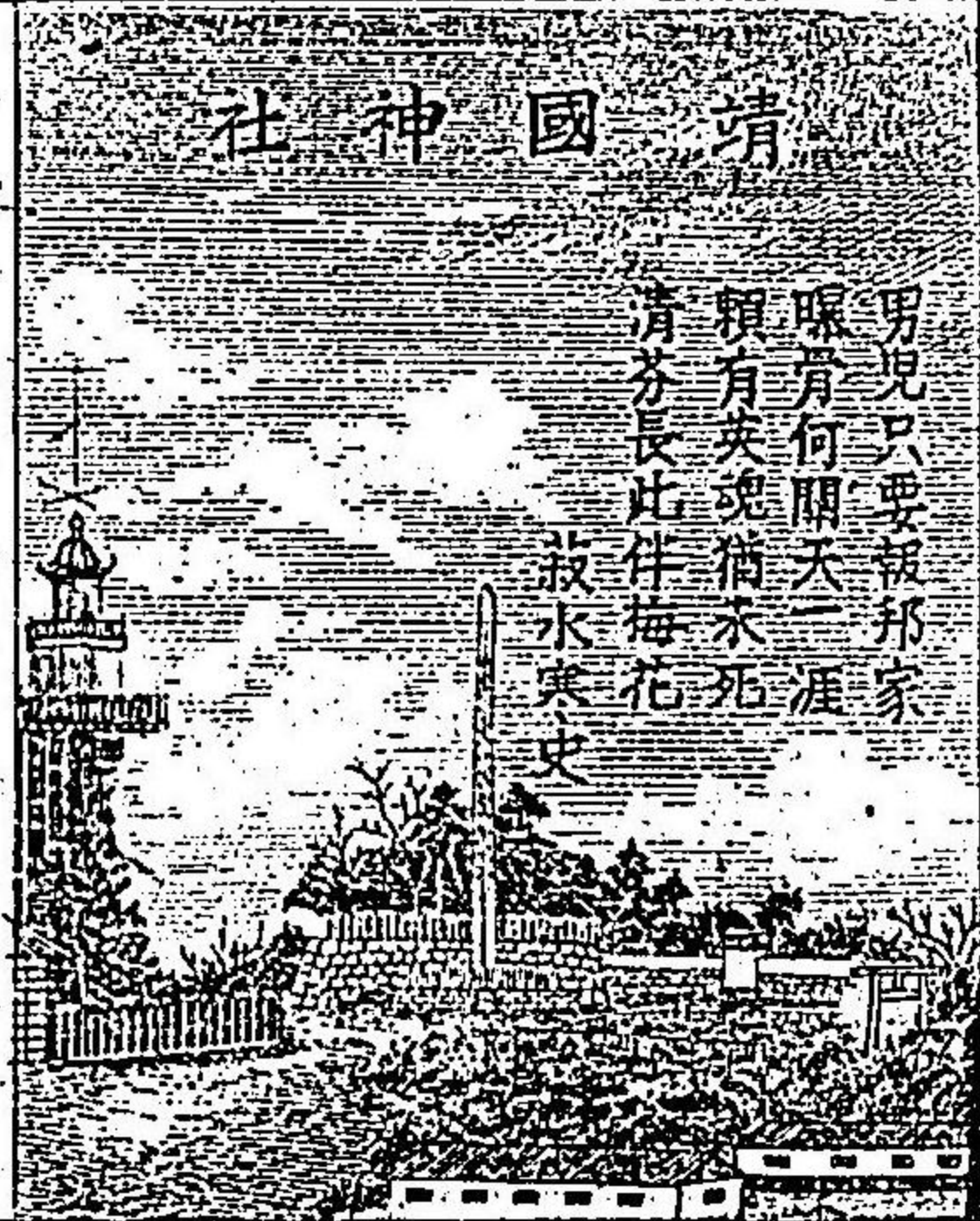
糺町區之部

天正十八年徳川氏の有とふり  
 明治元年鳳輦東幸万世皇城とふ  
 る○吹上御庭多皇城の中より  
 旧名を舟澤と云ふ飛泉あり御茶  
 屋あり幽篁密林深山窮谷の態あ  
 り又釣橋あり藤架あり美麗目を  
 奪ふ○釣橋を渡さし得と認め札  
 一人五十人馬車四輛馬八疋右を  
 合せたふ高より重きを一度は渡  
 すべからふと書てあり○八  
 代曾河岸多和田倉御門の外あり  
 天正以前ハ此町迄波打て漁家あ  
 りハ慶長の頃ヤヨウスと云ふ  
 阿蘭陀人ハ此地を賜ふ故ハ此名  
 あるからん○勸工場ハ龍の口よ  
 あり陳列せし物品ハ正札付まで  
 賣買せ○龍の口ハ和田倉御門の  
 東御堀の餘水を落せ所を云ふ○  
 道三橋ハ常盤橋の内あり昔徳  
 川將軍道三を召し時來る遅けと



橋を架せしと云ふ○内務大蔵兩  
 省及印刷局ハ大手町より印刷  
 局の建築多宏壯にして工部大學  
 校と相伯仲せり○太神宮を日比  
 谷御門の内あり鳥居の結構世  
 小めづらし○博物館多山下御門  
 内あり○東京府ハ幸橋内にあ  
 り○霞関ハ古ハ関門のあり一町  
 あり遠く袖ヶ浦を見るを得る  
 ○工部大學校ハ三年町より建  
 築宏壯にして寄せ木を以て建し  
 講堂あり○柳の井ハ霞関の北  
 あり今ハ荒はて、只柳と井の水

の流るゝを見るのこゝ○日吉神社  
 永田町山王山の上よりあり樹木  
 鬱蒼として溜池の上より屹立し夏  
 へ涼し宜し鳥居の前より櫻樹數十  
 株あり○平川天神へ靴町平川町  
 小あり文明十年六月廿五日太田  
 道灌當國入間郡川越三芳野天神  
 を江戸城へ御請ひ教株の梅も植  
 ると云ふ徳川氏大國の後平川口  
 の處へ遷す慶長の頃本丸造營二  
 付竟小今の平川町の地へ再遷す  
 毎月廿五日は植木屋の夜見世  
 盛まつて廿六日は神楽あり○  
 貝塚も靴町辺の総名あり此地へ  
 昔よりの甲州街道より路傍より  
 一里塚あり之を土人甲斐塚と呼  
 ぶ又貝塚法印の墓ありとも云  
 ふ今四丁目の横町貝塚あり○  
 雷祭師八丁目の横町あり木  
 尊は行基大士の作り○清水谷

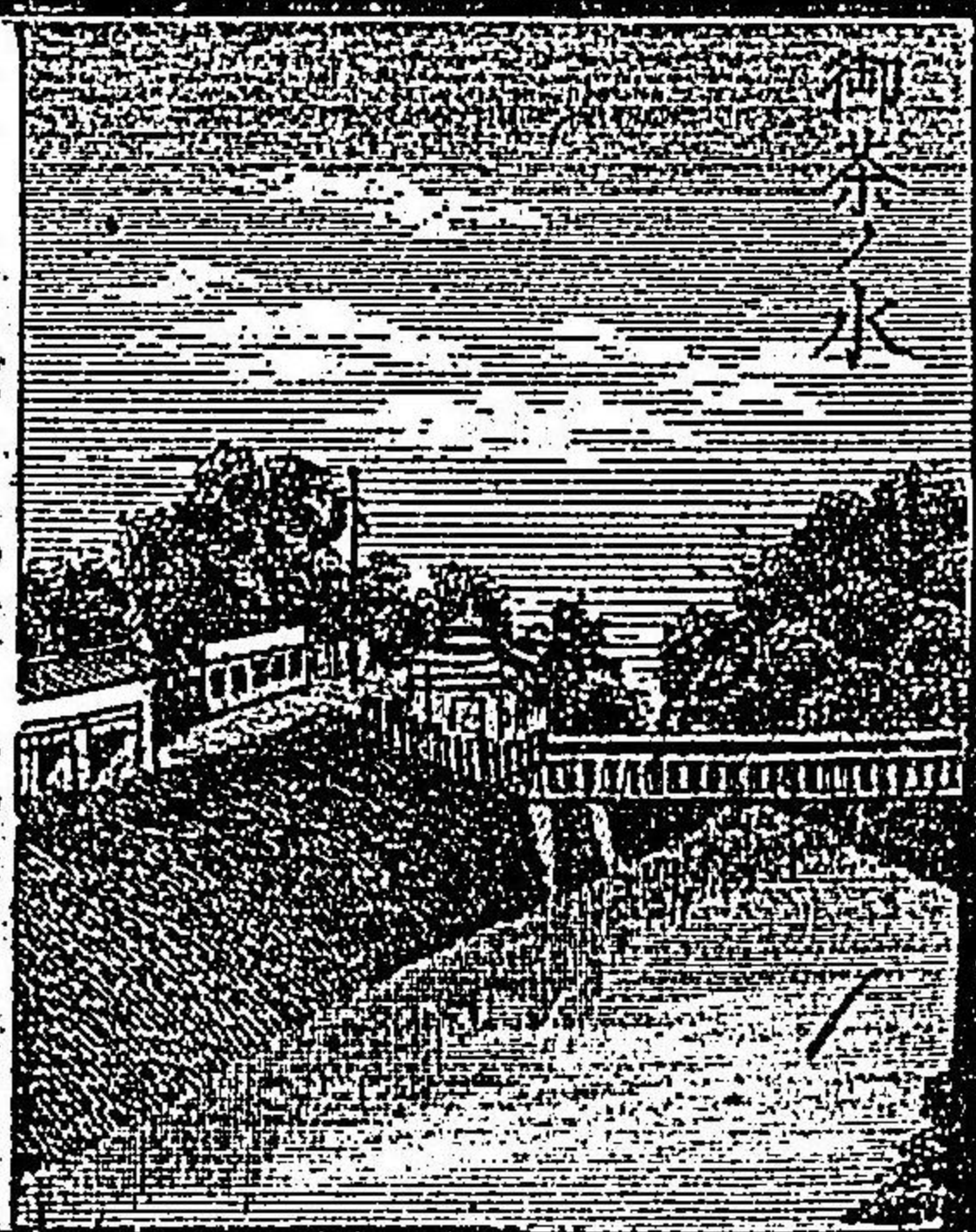


赤坂御門内より靴町八丁目へ  
 出る阪下迄を云ふ○靖國神社ハ  
 皇城の東北九段坂の上より報  
 國盡忠王事の爲め死せし者を  
 祭祀したまひしより同招魂社と  
 云ふ明治二年六月の創建より社  
 内飛瀑あり噴泉あり梅櫻桃李を  
 雜植し四時花の絶えず時かゝ燈籠  
 を多くあれども天然石の燈籠より  
 人驚かざるふり同町銅の記念  
 碑あり劔の形も烏布代物ふ  
 り祭日ハ籠馬相撲能等あり縦  
 覽し許さる○一稻荷九段坂小



並び中坂の中英あり毎月一  
の日を祭とす此日の夕まハ九段  
阪の下より中坂の下迄夜見世あ  
り植木屋殊小多く男女雑沓す○  
牛ヶ淵を九段坂の中程堀乃淵を  
云ふ今ハ靖國神社の用地とふる  
神田區

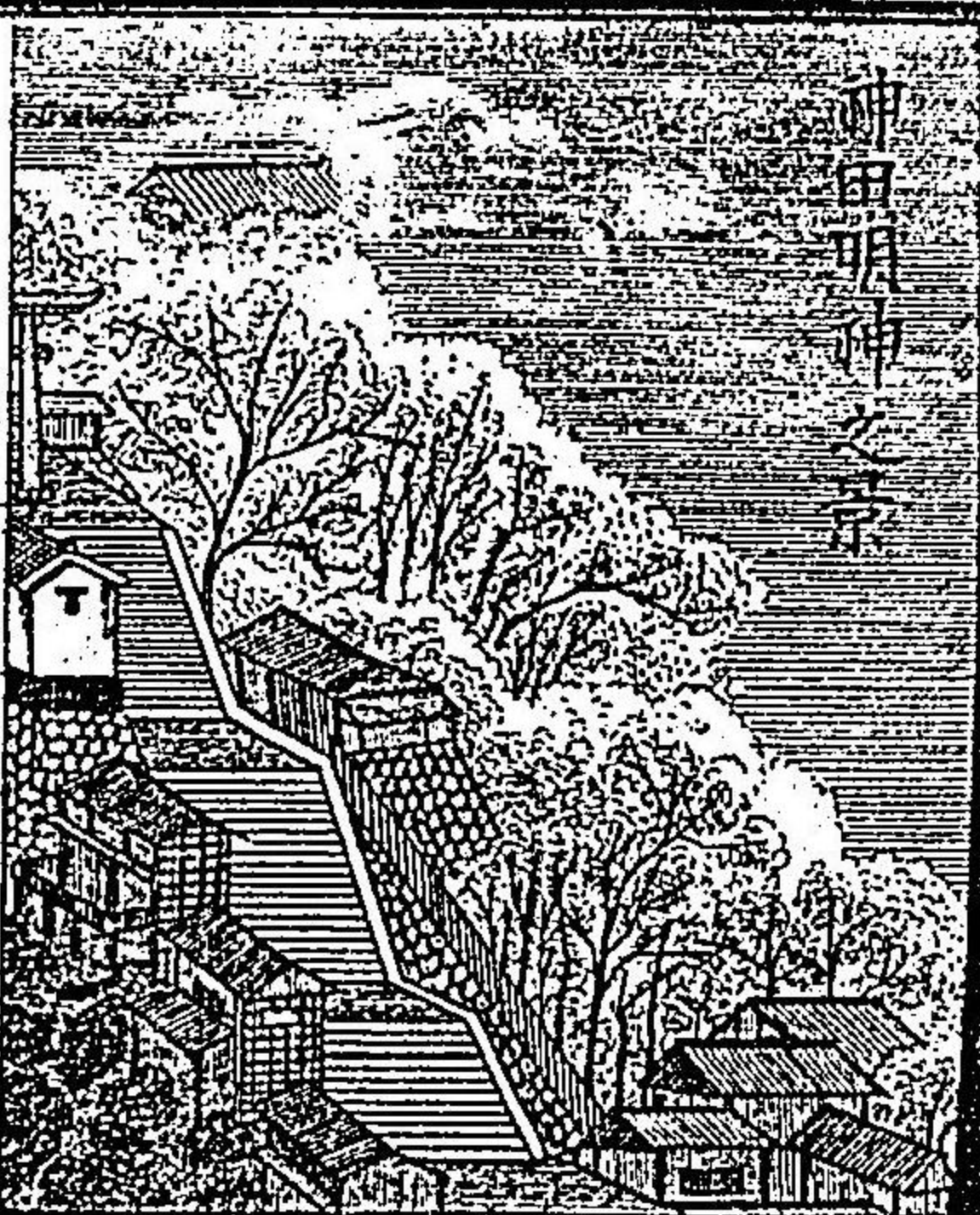
此區々神田川沿岸の地より西  
南ハ糺町區に接し東南ハ日本橋  
區小連り北ハ浅草下谷本郷の三  
區ハ大牙出入と云ふ○於茶の水を  
駿河臺の後水道橋の下より萬世  
橋へ流す城濠の上より神田  
上水を城内に通する万年寛あり  
夏晚納涼宜しき所なり○師範  
学校ハ神田川乃北神田神社の西  
丘よりあり同所ハ女子師範学校あ  
り皆中小子の教師を養成する所な  
り○駿河臺昔ハ神田の臺と云  
ふ此所より富士峯を望むも尊上



を見る如し故に此名あり○神  
田川ハ江戸川の下流より湯島  
臺の下を東へ流す大川に入る明  
暦より万治の頃は至り仙臺候湯  
島臺を堀削り小石川の水を初て  
此は落すと云ふ又慶長年間駿河  
臺の地開けし時水府公藩邸の前  
の堀を浅草川へ堀りつゞけりと  
云ふ○眼鏡橋ハ本名萬世橋と云  
ふ花崗石を以て築造し橋下の形  
を眼鏡に似たる故に世人眼鏡橋  
と云ふ昔助違橋と云ふよふなり  
○五十稻荷ハ表神保町より五

十の日祭日たり夜商人多し植木屋殊多し○柳原ハ神田川の南岸小して浅岬橋へ行く凡十丁計の町より旧時長堤ハ柳樹ありし今ハ堤も毀ちて更ニ植ふ小雑樹を以てす此辺古着屋多し○八辻小路ハ眼鏡橋の内を云ふ岐路ハあり故に云ふ○神田神社ハ眼鏡橋の良位より本郷臺の東端小あり石階高く聳へ社頭清浄眺望大ニ勝る景光上野愛宕より次り其上ニ茶店以て憩ふへ○圖書館ハ昔の聖堂より漢士孔子を祭りし所なり今ハ數方の書籍を集め何人ニ限らず縦覽を許さる○御成道ハ旅籠町より上野小至る路を云ふ旧政府の時將軍廟墓小詣るの道たり○於王ヶ池ハ松枝町の辺に云ふ昔大なる池あり櫻ヶ池と云ふ櫻樹の下に於玉

神田明神之景



と云ふ女出居て往來の人々茶を賣りて此女容色人々過るにければ二人の男戀慕して信を盡しけり於玉思ふに何となく我も思ふ切なる方へ身をまかせんと然るに二人とも思ふこと同一なれば一人の身せん方なく遂に此池に身を沈めしと今の於玉稲荷ハ於玉が冥を祭りしと云ふ池の跡ハ井の如き物遺り○夜見世ハ万世橋より日本橋の間盛ふり尤古道真屋多し○神田市場ハ多町佐柄町の間を云ふ府下菜市の冠たり○

鎌倉河岸ハ神田龍閑二橋の間と云ふ○東京大学三学部ハ錦町小あり○学習院も錦町あり○温泉ハ美土代町あり結構壯大なり淡路町もあり夏時ハ遊客殊多し○弁慶橋ハ泉橋通り藍染川の下流に架す其初大工棟梁弁慶小左衛門と云人の工夫より懸初といへり其形尤奇なり

日本橋區

此區ハ皇城の東小位西ハ城濠を隔て、糺町區に隣り南ハ京橋區に連り東ハ大川を隔て本町深川の區に界し北ハ神田區淺草區に接す戸口最稠密商賈繁盛豪商富家甚多府下殿服の冠なり○今川橋ハ本銀町の大通りなり昔此地の望正や今川と云ふ故に此名ありと云へり○一石橋ハ日本橋より二丁計西同一川上



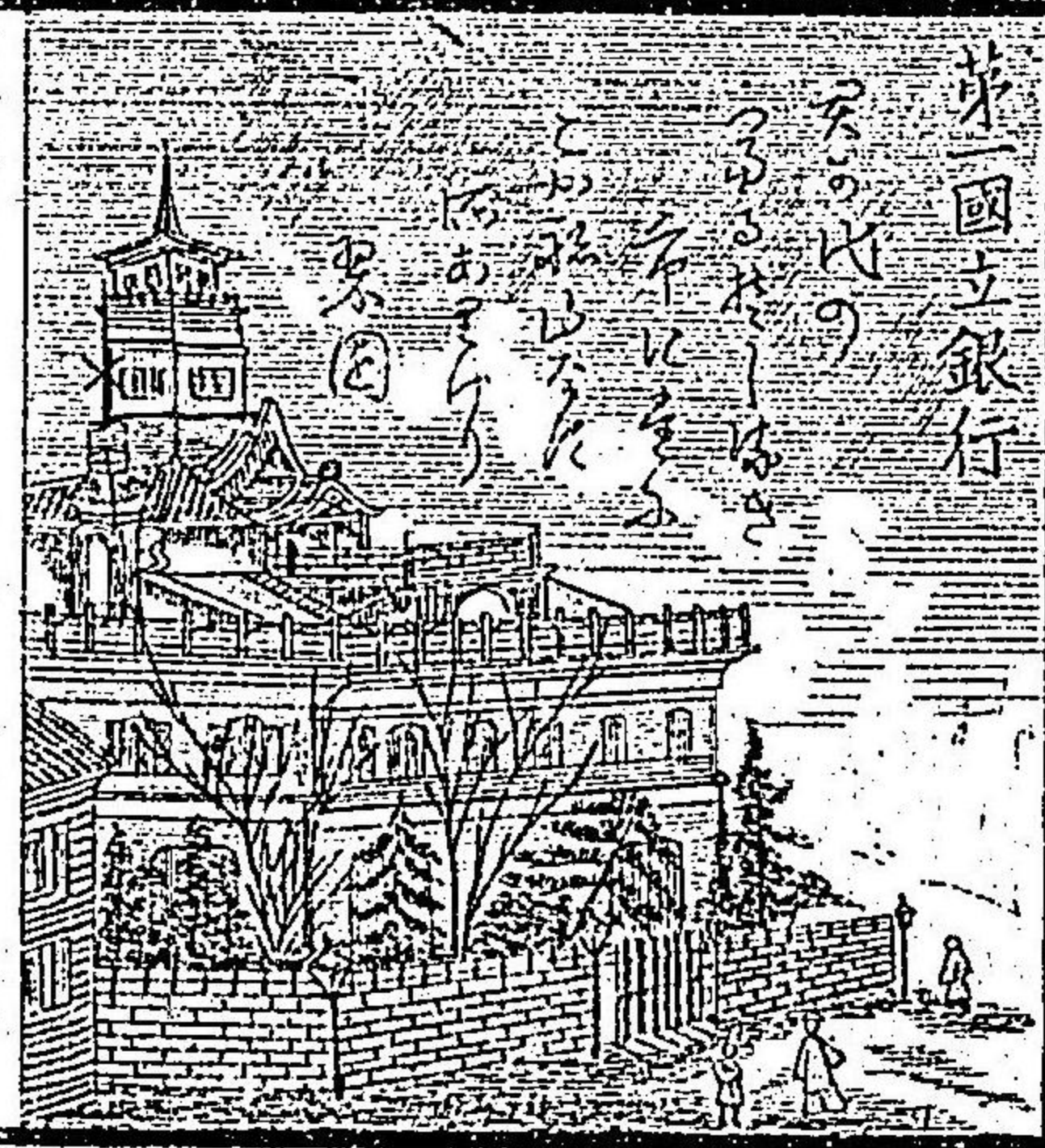
架すも橋と云ふも此橋の南北金座呉服店の後藤氏の商家あり故小五斗五斗と云ふ諺句に依り二石橋と號せしとなり○三井銀行ハ駿河町あり宏大なり○三井呉服店ハ日本橋より眼鏡橋への通り路駿河町あり一なり大丸と讀嶺十明治七年十一月新築落成開張の節一日の賣高平塚一万千円餘なりと云ふ○通町ハ眼鏡橋の内神田須田町より南へ今川橋日本橋中橋京橋新橋を経て

金杉橋迄の惣名なり○十軒店ハ  
 本町と石町の間の大通を云ふ三  
 月々人裡雜襖人形五月ハ宵人形  
 葛蒲刀春ハ破魔弓手毬破胡板等  
 を商い昔ハ其繁昌言語小盡一難  
 一○浮世小路ハ室町三丁目の間  
 の東の横小路を云ふ盤の表浮世  
 臥座尚ふみせある故ふいふとも  
 又ハ風呂屋遊女の居たり一故と  
 も云ふ○日本橋ヲ通一丁目と室  
 町一丁目との間なる溝渠ヲ架一  
 一府の中心ハあるを以て人行織  
 るが如くハ十餘州里程を計る源  
 なり橋上ハ平坦ふりて人道車馬  
 道の二道ヲ分割一中央を車馬道  
 と一両側を人道と一其間を堅牢  
 なる欄檻と以て遮隔す其傍ハ掲  
 示場あり○人力車を用るも此處  
 を以て始とす明治三年春頃ハ四  
 五輛あり兩國迄の間ハ賃錢十二



三錢なり一ハ此頃ハ終ハ五錢位な  
 り○鐵道馬車ヲ大概新橋より此  
 處を經て淺草及上野へ行く○魚  
 市ハ松町小田原町安釘丁の間  
 あり昔の一諸國の魚物ハ先ツ此  
 處へ輸送して賣買繁盛と極ま  
 り人此辺を魚河岸と云ふ○電信  
 局ハ日本橋の左側ふり日本國  
 中々勿論西洋及支那迄連續と  
 電線の元あり○驛邊局ハ日本橋  
 の東四日市町の角ある際關  
 して樓上外面ハ田形の大なる時

辰儀を装置し夜中ハ内部に點燈して外面は透燿せしめ田針と分明に認む○第一國立銀行ハ地町よりありて結構宏壯華麗なり明治六年八月一日開業式を行ひたり此銀行ハ三井八郎右衛門小野善助三井三郎助小野善右衛門三野村利左衛門の發起あり○後島田組等の銀行續々設立す○三菱會社の物置ハ驛邊の前者あり磚石を以て築造し其結構の壯大なるを驚かす堪へたり○江戸橋ハ日本橋の山下に在りて四日市より本松町へ架す明治七年八月芝濱松町の佐藤某と云ふ人改築して石橋とせり其經費ハ一十二千二百余圓ありと云ふ○乾魚商ハ元四日市本材木町より多し○藥舖ハ本町より多し○銅商ハ通旅籠町通油町の間より多し此辺ハ大



第一國立銀行  
門通と稱す昔遊郭のありし處あり○米商ハ本松町伊勢町より多し故に其埠頭を米河岸といふ所敷町より米商多し俗に米屋町と云ふ○米商會社ハ地町及囃殺丁よりあり○燈橋ハ東茅場丁より小綱町へ渡せし橋なり近年迫り渡り場より燈の渡りと稱せし明治五年三井小野島田の三名自費を以て橋を架し同年十一月より通行を開あり○茅場町ハ往昔海辺宿麁の地より茅の蔭茂るとるよ

りして茅場町と唱へ來せり言  
 〇藥師如來々南茅場町普門院  
 あり日吉山王の旅籠町あり八  
 日十二日より藥師の縁日なりと  
 て昔ハ極て繁昌老若雜沓して世  
 名高けれと今ハ只奇場待合  
 茶舗あるのみ而昔の如くから  
 すと云ふ〇水天宮ハ蠣殻下三丁  
 自有馬氏邸内あり安徳天皇を  
 祀る昔ハ筑後久苗米あり綾赤  
 羽根有馬邸内も移り又赤阪も移  
 り終今この所も移る二日十五日  
 五日と月も三四の參詣を許すむ  
 守符と出すことハ祭日五日のみ  
 なり五日ハ參詣人も多く商賈人  
 し殊も多し〇楠公社ハ矢の倉元  
 酒井氏邸内あり明治七年五月  
 造營畢りて湊川より迎へ奉祀し  
 巨本朝勤王の諸雄と合祭せり〇  
 兩國橋ハ新柳町より本町元丁よ



三派の景

達するものよりて華麗堅牢なり  
 〇柳橋ハ淺柳橋と兩國橋の間  
 あり橋の仙歌苑の家及旅宿多し  
 〇新大橋ハ濱町より深川西元町  
 へ架す長を凡百八間なり元禄六  
 年始て是を架し兩國橋の旧名を  
 大橋と云ふを以て其名も依り新  
 大橋と稱す六六橋の一あり〇永  
 代橋ハ箱崎町より深川に架する  
 橋と云ふ元禄十二年始て造り永  
 代橋へ架す故も永代橋と云ふ長  
 凡百十間余よりて海門に接する

りて茅場町と唱へ來せりや言  
ふ○藥師如來々南茅場町普門院  
あり日吉山王の旅籠町あり八  
日十二日よハ藥師の縁日なりと  
て昔ハ極て繁昌老若雜沓して世  
よ名高けれと今ハ只奇場待合  
茶舗あるのみ而昔の如くふら  
すと云ふ○水天宮ハ蠣殻丁三丁  
目有馬氏邸内あり安徳天皇を  
祀る昔ハ筑後久留米あり坂赤  
羽根有馬邸内も移り又赤阪も移  
り終る今の所も移る一日十五日  
五日と月よ三四の參詣を許すむ  
守符と出すことハ祭日五日のみ  
なり五日ハ參詣人も多く商賈人  
も殊も多し○楠公社ハ矢の倉元  
酒井氏邸内あり明治七年五月  
造營畢りて湊川より迎へ奉祀し  
且本朝勤王の諸雄と合祭せり○  
兩國橋ハ新柳町より本町元丁よ



達するものよして華麗堅牢なり  
○柳橋ハ茂柳橋と兩國橋の間よ  
あり橋の曲歌苑の家及松宿多し  
○新大橋ハ濱町より深川西元町  
へ架す長さ凡百八間なり元禄六  
年始て是を架し兩國橋の旧名を  
大橋と云ふを以て其名よ依り新  
大橋と稱す六大橋の一あり○永  
代橋ハ箱崎町より深川よ架する  
橋と云ふ元禄十二年始て造り永  
代橋へ架す故よ永代橋と云ふ長  
凡百十間余よして海門よ接する  
日本橋區二部  
九

大橋なるを以て洪水暴風の節は心ず損毀破傷する故に明治七年鉄柱を交せ堅牢精微な新構より征杭頭の鉄の螺旋ハ各其金五十八貫目なり此處諸國の廻廊橋樑の要津なり東南ハ蒼海より屋総の翠巒斜に開け芙蓉の白峯と皇城の西は時ち筑波の遠嶽を墨水に臨みて朦朧たり白雲金龍の宝閣を緑樹の間に見へ隠き風景畫の如し○加藤神社ハ新大橋と兩國橋との門濱町二丁目細川邸内あり明治五年肥後熊本より神像を御請へ祭祀せり連片廿四日實詣多し

京橋區

此區々皇城の東あり北ハ日本橋區に接し西ハ城濠を隔て能町區に隣り南ハ沼津と臨む此區に連り東ハ内海に沿ふ溝渠あり通

銀座煉石化道市街



車馬往來繁昌かゝる日本橋區に譲らず○京橋ハ南傳馬町より銀座二丁目架せり明治七年筋違淺草兩橋の残石及び小石川御門の石を以て石橋を改造すと云ふ○煉化石屋新築ハ明治五年二月の災に罹りてより京橋より新橋に至るの間を改築し左右の家屋一々西式小倣い石造に非ざれば磚造なり石の淡青色き磚の赭色と相映し中道を夾て柳櫻松楓を雜植し左右の兩路ハ磚石を敷き



清潔を極め雨天の時も泥濘の苦  
 を免れしむ○松田櫻ハ京橋の南  
 へあり客來れハ有名を認し塗板  
 を出す一物の價五六錢なり下等  
 料理屋ニ而巨樓傑閣此の如きハ  
 未だ他は見ることなり又客の來る  
 他は如此盛るへなり○竹河岸ハ  
 炭町を云ふ竹賈多し○大根河岸  
 ハ北紺屋町を云ふ菜市あり○美  
 岸島ハ昔時一の沙洲なり一の僧  
 雄譽之を修築して一寺を創立し  
 美岸寺と云ふ後世寺を深川に移  
 し其跡を町家とす故に此名あり  
 ○南北新川ハ酒賈多し北新川ハ  
 美岸島四日市を云ひ南新川ハ銀  
 町を云ふ○檜葉河岸ハ美岸鳴町  
 の東岸を云ひて其對岸を五軒店  
 と云ふ○守田座ハ新富丁あり  
 明治五年官許を得て猿若丁よと  
 移轉せり結構の宏壯麗記あるこ



此場を以て巨擘とす俳優亦  
 上等の者多し王政維新の際此処  
 へ遊郭を設け明治四年廢止と  
 かりしより稍零落し属せし職  
 を閑しより隣音の繁閑小復した  
 り○築地ハ昔隅田川の支流小  
 て海を傍せしを築埋せし地かり  
 近世外国人居留の處とかり商賈  
 宏壯貿易頗る盛なり○濱離宮ハ  
 園庭雅麗小して藤柵最も世に名  
 高し○延遠館ハ濱離宮の傍小あ  
 り大慶堂は管へ一望して心目を

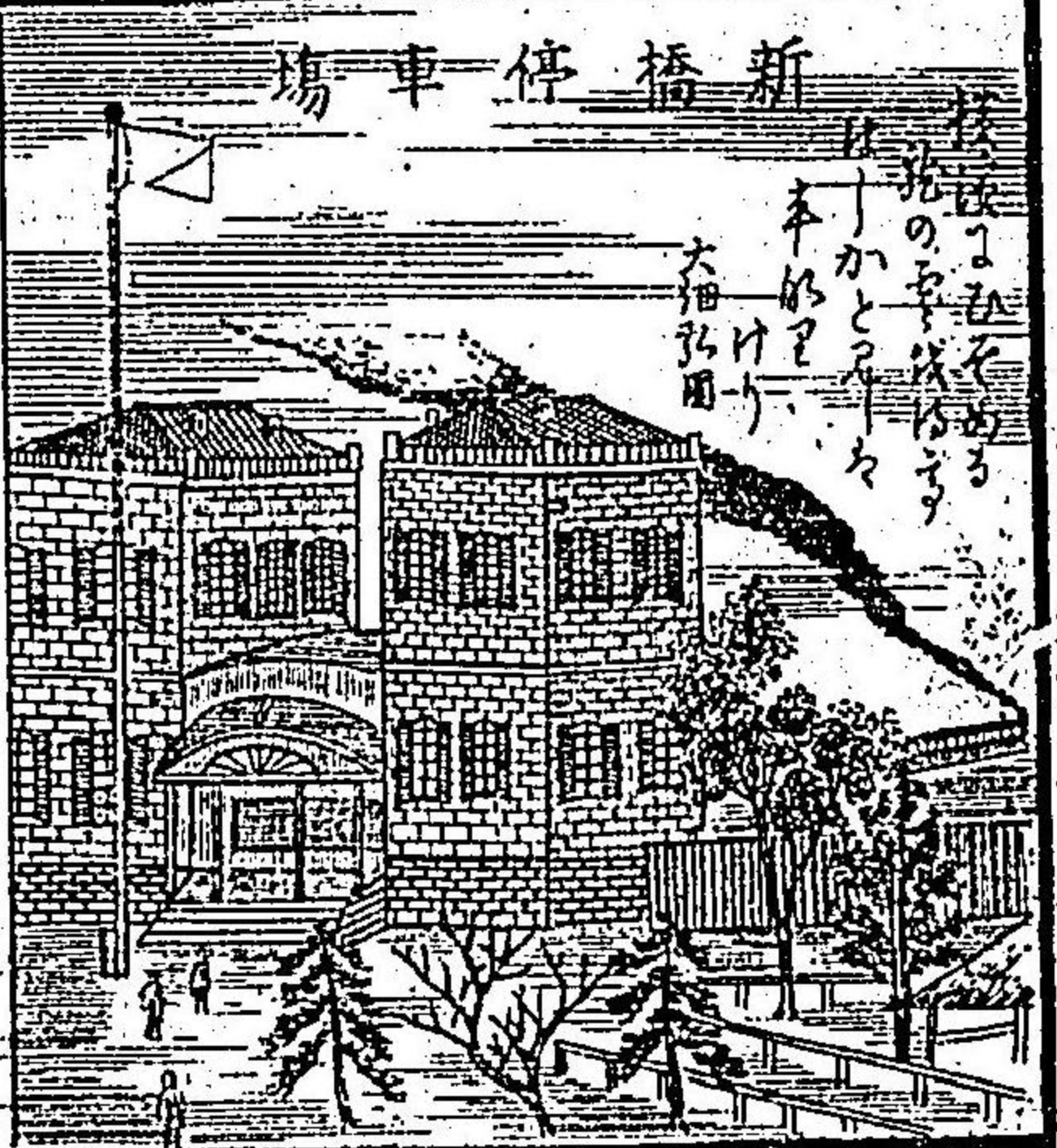
快す○新橋ハ鉄を以て架す○鐵  
 道馬車會社は芝にあり十五年六  
 月廿五月初運轉を行ひ米數万人  
 の意に叶ひ日々乗客充滿せり賃  
 錢乗車心得表末小あり○藥師  
 堂ハ長岸島銀町小あり本尊ハ三  
 州鳳來寺峯の藥師と向木同作小  
 して大宝年間造立かり旧高野  
 山橋本の里あり一を慶長年間  
 此地に移と云ふ○橋本種何ハ藥  
 師境内小あり神像ハ弘法大師の  
 作小して往古ハ高野山の麓橋本  
 の里小ありしを故ありて此小移  
 と云ふ○鐵炮洲ハ南北ハ凡八町  
 はありとあるべし寛永の頃井上  
 稀畠の大筒を試し听かりと或ハ  
 此出洲の形其器に似たる故小  
 鐵炮州と云ふふより今ハ新炭  
 石林の間屋多し○佃島鐵炮洲小  
 傍たる島嶼かり白魚小名あり○



住吉神社ハ佃島の中あり根州  
 住吉の分社なり○石川島ハ佃島  
 の北あり鐵島と音云ふ義家の  
 鐵の故事ありとも異國より獻じ  
 一鐵の故事ありて斯く云ふとも  
 云ふ○西本願寺ハ築地より西  
 門跡と云ふ始ハ横山町あり一  
 が明曆災後此地に移る本尊阿彌  
 陀如來ハ聖德太子の作小て泉州  
 堺の信證院より此地に移と云ふ  
 ○承女ハ原ハ木挽町四丁目より  
 東の方と云ふ

芝區

此區ハ皇城の南ニ位一北ハ京橋  
區ニ接シ東ヲ海ニ瀕シ南ハ荏原  
郡ニ隣リ西ヲ赤坂麻布兩區ニ續  
ク○停車場を新橋の南ニあり屋  
宇ヲ一般洋風ニ摹シ館内ハ廣壯  
清潔一面ニ淨石ヲ敷列ニ滿地祭  
然たり上中下三等の待合休息所  
あり上等室内ハ大ふる榻床あり  
花壇の麗も敷き天井ニ数珠の花  
燈ヲ掛け寒中ハ常ニ温室器ヲ置  
キ暖暖ふトシ中等下等之ニ次  
ク館内洋酒及小間物屋あり家客  
モして倦トシトホッラシム明治五  
年九月十二日横濱より新橋迄の  
鉄道落成一此日開業式ヲ行トタ  
リ○日比谷橋荷ハ芝口三丁目西  
の裏通リあり花洛藤の森の橋荷  
を御請セリト云ふ○鳥渡船荷ハ  
幸橋より二丁目南の方ニあり



神宝ヨ古き麴口一ノあり○三蔵  
山増上寺ハ廣度院と稱シ閑泉淨  
家の總本寺十八檀林の冠首ヨ  
テ盛大の佛域たり人皇百一代後  
小松院の御願ヨ一テ開山モ大蓮  
社西譽上人中興ヲ普光觀智國師  
ナリ此寺ハ徳川氏廟墓の地ヨ  
テ堂宇の金碧晃耀東叡山ヨ同  
旧政府の時ハ數百戸の学舎疊々  
トシテ軒ヲ輾リ支院三十余宇向  
リ維新の後大教院トふリし後  
災ニ罹リ本堂を灰燼トふトリ○

大銅鐘を災後地よふせてあり厚さ尺余口の渡五尺八寸計り高さ一丈程あり声洪大ふりて風よ從て當國熊谷の辺に聞ゆる事ありと云ふ熊谷を東京か去る十六里あり謬に此鐘を一里鐘と云ふを其響長くして一種の間行人一里を歴るとして然云へりと○黒本尊ハ本堂の後あり像を恵心僧都の作なり多く年所を歴て金泥尽く黒色となきを黒本尊と云ふも源九郎義経の所持せし所なれり九郎本尊と云とも云へり○安國殿々本堂構の外南の方あり家康公の朝あり○五層の塔ハ山の上蒼林中あり酒井雅樂侯の建立なり○飯倉天満宮ハ天神谷あり社地梅樹多し○山山ハ五重の塔の下あり数椽の茶舗あり割烹店あり遠眺絶佳なり○



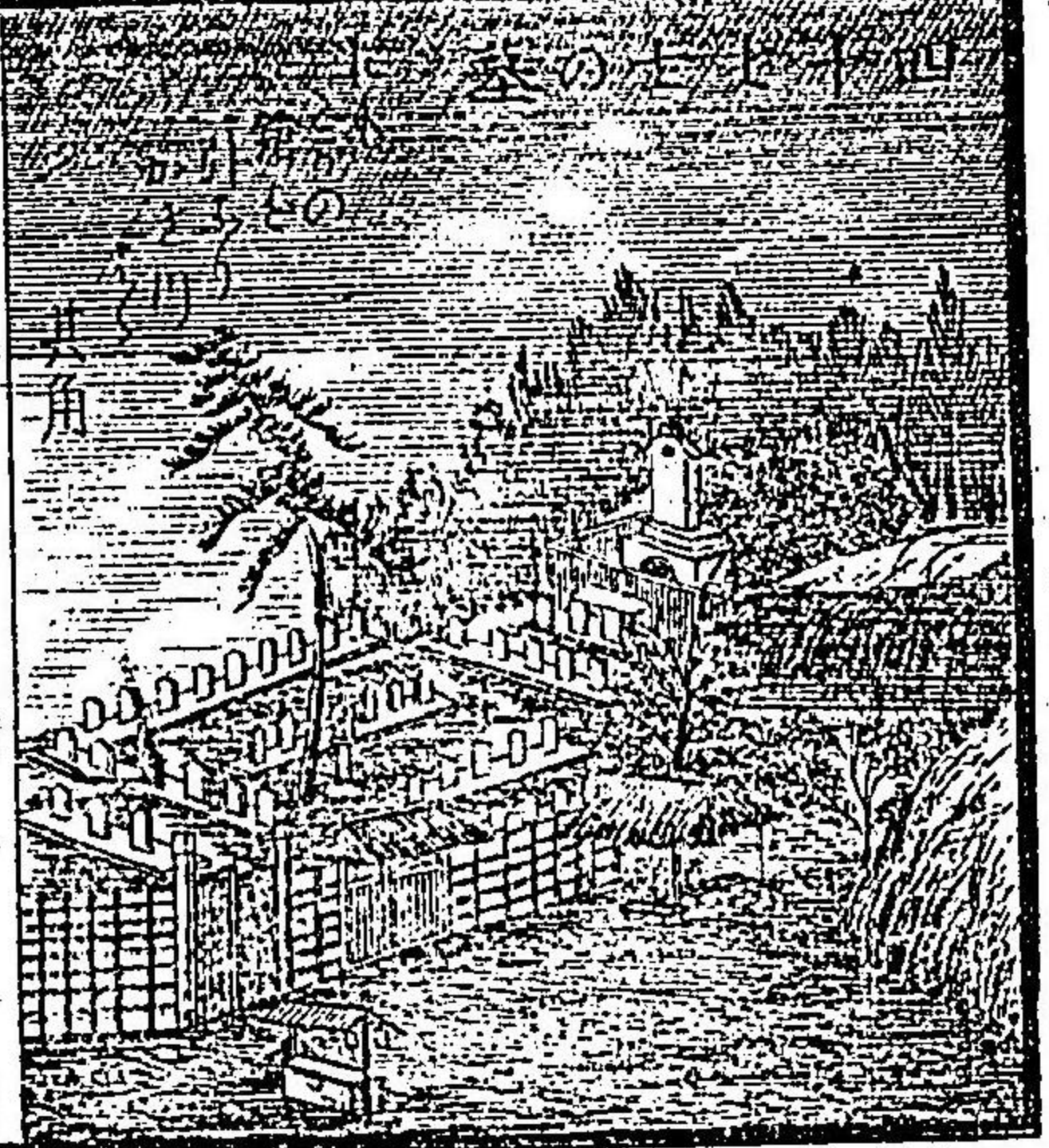
其麓に温泉場あり蕎麥店あり植木屋あり人造の飛瀑あり○芙蓉洲并天の祠々赤羽根の内あり運池あり池中泉多し○穴弁天ハ本堂の北あり穴の傍に燈を借す茶屋あり諸人燈を付て穴より入る其上に休憩所あり此山上より圓山に至るの路ハ古木鬱茂藤蔓之を纏ひ深山の趣あり○北向観音の堂ハ圓山の北あり三蔵山の絶頂あり○飯倉神明宮を神明町と濱松町の間あり天照大神

豊受姫を祭る寛弘二年の創造な  
 り例祭々九月十六日より二十一  
 日迄の間なり豊及ちぎ箱を賣る  
 神明臺と云ふて世々名高一社内  
 揚月場多く紅襪翠袖とびもど  
 く客を引き五十銭を投すれど一  
 夜の余を同すといふ○日蔭町と  
 神明社の門前と云ふ錦繪及反  
 物古器雜物と鬻者多し四方小名  
 高し○瓦斯器ハ濱松町あり府  
 下瓦斯燈の源なり○芝浦ハ芝濱  
 海の地と云ふ芝艸とて蝦と此地  
 の産物とす○釣舟を多く金杉の  
 辺より出す此處の船手を能く海  
 よなき奥の居る處を知るとて都  
 下人多遊獵ふ此辺より出す○海  
 水浴ハ金杉あり諸病ハ効あり  
 とて都人浴する者多し海岸よて  
 眺望も好く涼しけむ盛夏ハ殊  
 遊人多し浴料ハ銭なり○魚市



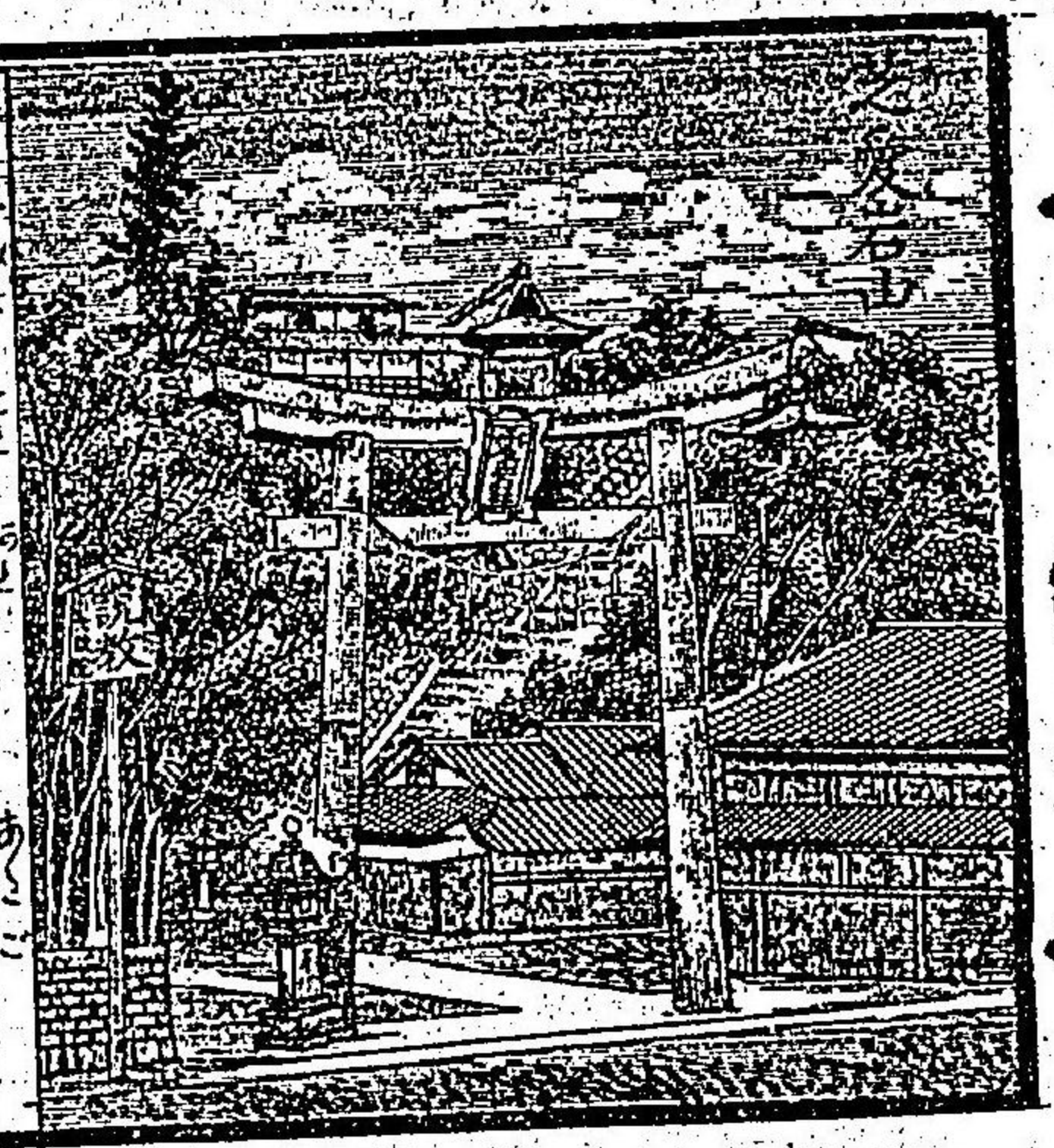
増上寺門前は毎朝あり日本橋  
 魚河岸の如く盛らすと鮫尾小魚  
 あり○西應寺ハ金杉の通より  
 西の裏あり本尊阿彌陀如来の  
 像ハ慧心僧都の作り○三田ハ  
 幡宮ハ三田町七丁目あり三田  
 の惣領寺にして後一條帝寛仁年  
 間の創造なり昔三田山あり  
 正保年間此へ遷すと云ふ○祖  
 來先生の墓ハ三田寺町長松寺ハ  
 あり碑文ハ楠葉陰禱す○魚籃觀  
 音堂ハ寺町津間寺あり木像ハ

寸許ふりて面相店女の如く右の  
 手は魚籃を携へ左の手は天衣を  
 持せり○伊弉子藝師堂を湖見坂  
 より高輪へ下る阪の左側ふあり  
 寺を福昌寺と云ふ本尊を智証大  
 師の作ふりて頼朝公の念持佛を  
 りと云へり旧々鎌倉佐介谷ふあ  
 り○牛小屋を牛町ふあり此牛を  
 行くと正しく殊小早く形宛ま  
 て精氣雄才力量勝れて重と乗せ  
 て遠よ運ふと云ふ古々淀島羽ふ  
 のみありて都の外ふ牛車なか  
 り一は旧政府開けより江戸ふ  
 も用ゆる事とふりり餘々駿河ふ  
 有る而曰○高輪大木戸ふ田町ふ  
 り品川迄の間ふあり宝永七年の  
 新築ふり○高輪原を白金臺及二  
 本榎品川峯大井村辺と云ふ上杉  
 朝興の古戰場たり○泉岳寺を海  
 道の右ふあり慶長年間の新築な



り赤穂四十七士の墓あり遊伏大  
 野屋茶の碑あり義英の首と洗ひ  
 一首洗ひ井戸あり○大佛を泉岳  
 寺に並べ如來寺ふあり寛文二年  
 の建立よりして石像仁王の一丈六  
 尺あるあり○太子堂を同處ふあ  
 り寺を常照寺と云ふ聖徳太子十  
 六歳の尊容よりして自作ふりと云  
 ふ○庚申堂を同上境内ふあり日  
 本三庚申の一ふり○東禪寺は高  
 輪中町ふあり○春日神社は三田  
 一丁目ふあり大和三笠山と同社

あり三田の鎮守として渡邊綱の  
 旧跡ありと云ふ○札の辻に三田  
 町三田の岐路と云ふ○濟海寺は  
 聖阪の上る道より左側あり庭  
 中眺望絶佳なり○竹芝寺の旧跡  
 々濟海寺の隣ありと云ふ○勝  
 手が原い土器町より赤羽へ出る  
 廣小路の辺と云ふ太田道灌の人  
 敷を揃らざる處ありと云ふ○  
 西久保八幡宮は飯倉町一丁目よ  
 あり○天徳寺は西久保神谷町よ  
 あり本尊阿彌陀如來は行基大士  
 の作なり○万年山青松寺は愛宕  
 神社の隣あり太田道灌の神削  
 ぶり堂の後を合海山と云ふ眺望  
 愛宕山より同一○愛宕山愛宕神社  
 々村社よりて懸崖壁立六十八級  
 の石階あり境内の茶屋軒と並へ  
 眺望都下の諸勝小冠なり○櫻川  
 々古へ有名の流れあり一か今々

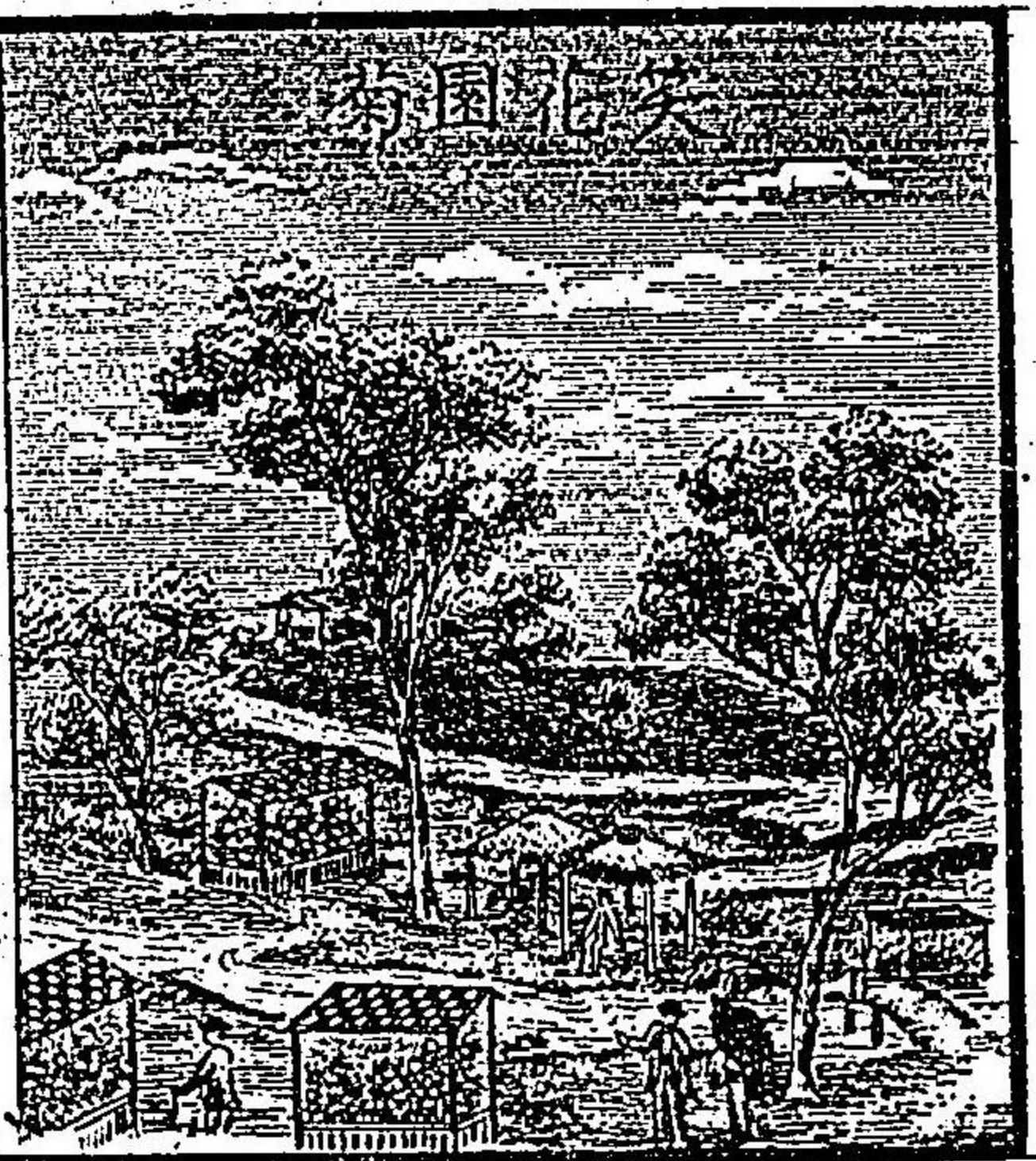


只小講乃如き跡を遺し愛宕山の  
 下を流るる而已○開拓使博物館  
 々愛宕下より公園地へ行く道よ  
 あり諸人の縦覽を許す○金地院  
 へ増上寺の西切通りの上あり  
 ○琴平社ハ虎門外琴平町小何り  
 大物主神及崇徳天皇を祭す祭日  
 ハ毎月十日よりて参詣影く水  
 天宮と其繁榮も同ふに

麻布區

此區ハ皇城の南あり東ハ芝區  
 小接し南ハ渋谷川を隔て荏原郡

白金村に對し西北ハ赤坂區小連  
 三〇觀象臺を飯倉林元二丁に跨  
 てあり〇狸穴を元壙元と云古銅  
 壙有り一町あり〇善福寺ハ雜色  
 小あり弘法大師御創あり一より  
 已降一千餘歲を経たる古監ふり  
 〇一本松ハ同町北の裏通り一本  
 松町にあり六孫王經基此地を過  
 る時此松に衣冠を懸して冠松  
 の名ありとも里人さまざま云へ  
 り或云小野篁が植し松とも云ふ  
 一氷川神社ハ同町南の方にあり  
 〇七佛藥師如來ハ本村町にあり  
 傳教大師の作ふり六孫王經基の  
 持念佛たりと云ふ〇霞山稻荷社  
 なる櫻田町小あり〇朝日觀世音ハ  
 同町専修寺にあり像ハ長者が丸  
 の叢より拾ひ得ものふり〇更科  
 の蕎麥屋なる長阪にあり味の美四  
 方は名高し〇子安藥師如來なる櫻



田町にあり〇祥雲寺なる廣尾町小  
 あり西京大徳寺派の禪刹にして  
 黒田長政の開基ふり〇毘沙門天  
 なる祥雲寺より四丁計巽の方にあ  
 り像ハ樟の丸木作りにして聖徳  
 太子の彫造ふりと云ふ〇土筆ヶ  
 原ハ茨谷川の南を云ふ〇笑花園  
 なる土筆ヶ原にありて菊花小名あ  
 り世之を廣尾の菊と云ふて十月  
 頃ハ都人遊ぶ者多し〇鷲森神明  
 宮なる相模殿橋の南田島町小あり  
 源頼義東征凱歌の時白旗を收め



記ると云ふ○覺林寺ハ樹木谷道  
 より右より清正朝禪より生捕  
 せし王子の一人日延上人閑山た  
 りと主人云ふ○興雲院も樹木谷  
 坂の上よりあり本尊十一面観音の  
 像も和州長谷寺の観音を彫刻せ  
 し其餘材を以て造りしと云ふ○  
 花城天満宮ハ同所南の方よりあり  
 寺を松久寺と云ふ文祿の頃加藤  
 氏の臣山田某等安置す菅公  
 の自作ふりと云ふ○英一蝶翁の  
 墓も二本榎の通あり翁を画を  
 能し朝妻舟の画讀及び朝清水記  
 等世も行ふ○宝晋齋其角の墓も  
 上行寺より翁の著しうの誄  
 書二十余部世も行ふ○高野山宿  
 寺も正覺寺と稱す弘法大師四十  
 二歳の時自作りし像と云ふ○稚  
 子宮も猿町の坂口よりあり○元三  
 大師堂ハ大寄と云所よりあり古ハ

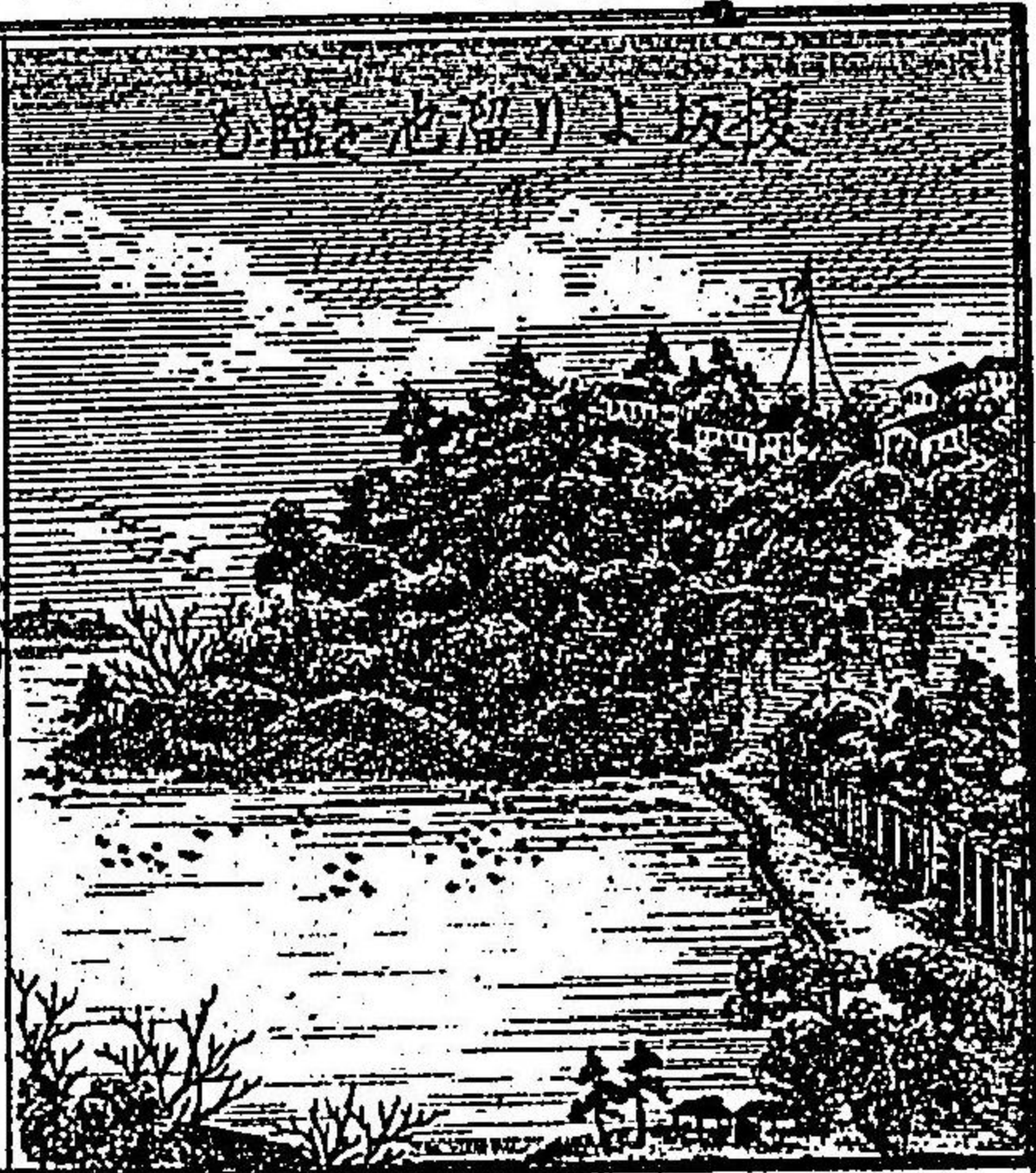


海濱にて此地より東の方品川迄  
 の間袖の形も似たりとして袖ヶ浦  
 と云ふ○瑞聖寺も白銀堂町より  
 あり○妙見大菩薩も瑞聖寺より三  
 丁計り西の方よりありて足利尊氏  
 の持念佛ふりと云ふ○鎌作り観  
 世音ハ妙見菩薩より一丁半計り  
 西の方六軒茶屋町よりあり○行人  
 阪ハ鎌作り観音より目黒へ下る阪  
 を云ふ○般若塚も阪の中程より  
 あり木食心響一道和尚と云ふ人般  
 若心經三千巻を書寫し埋めし印

の碑ふりと云ふ○石像五百羅漢  
 も坂道の左あり明和九年三月  
 の大火小焼死せし者の迷魂と申  
 らわん爲め建立せと云ふ○夕日  
 の岡ハ明王院の彼北方を云ふ○  
 并橋ハ青山長者丸の谷間の小  
 溝架せり○開拓使植物園を并  
 町より青山南町の植物園を合  
 せて三ヶ所たり皆諸人比擬覽を  
 許し縦覧料三ヶ所ニて二銭ふり  
 尤青山より縦覧するヶ順宜し○  
 渋谷長者墓を并橋の傍旧松前侯  
 の邸宅の地より相傳ふ應安の  
 頃迄此地小富農ありて渋谷長者  
 と稱せしとふり

赤坂區

此區を皇威の西南に位し東北ハ  
 溜池より喰違に至り外濠を隔て  
 靴町区に對し西北ハ四谷區に接  
 し東南ハ麻布區に接し西南ハ南



豊郡に隣り○溜池ハ區の東北隅  
 小ありて山王山の後たり古ハ有  
 名の大池まで都下百万人の飲用  
 又供する用水たり江州琵琶湖の  
 鮎によび山城淀の鮎等を生ふが  
 ら放ちしことあり又蓮を多く植  
 へしめこれに夏月花の盛小ハ美  
 観たりしが近時荒廢して絶し其  
 跡の存する而已○榎阪ハ溜池の  
 端より昔浅野幸長命を奉じて  
 堤を築き溜池の水を防ぎし時其  
 臣矢島長雲之を司す堤成就の後

其功を後世傳へんとて印を植し榎あり故に榎阪と云ふ○吳南阪を溜池の上より麻布へ登る阪を云ふ慶長の頃ハ高輪の東禪寺此所ありと云ふ○氷川神社ハ氷川町あり赤阪の惣領守ふり○黒田天神ハ田町黒田氏邸内あり○龍泉寺ハ一ツ木町あり○豊川稻荷ハ一ツ木町あり廿二日参詣多し○一木原ハ今総一傳馬町の裏通り其名を遺し一ツ木町と云ふ矢盛莊七郷の中より古き名ふりと云ふ○狩野興意墓ハ三分阪下靈鳳山種徳寺あり○今井城趾ハ旧安藝公の邸地を云ふ今井四郎兼平の城ふりと云ふ○赤根山ハ假皇居の地ふり○假皇居ハ元赤阪町あり皇城罹災の前迄ハ離宮たり近時大政官此内に移る○青山神所を赤阪



假皇居の隣あり○玉窓寺ハ寺町あり本尊觀世音の像ハ中將姫香を以て製すと云ふ○百螺山鳳閣蜜寺真言教院ハ青山久保町あり旧聖堂の地あり寺へ○梅窓院ハ久保町あり○海藏寺ハ梅窓院の乾方一丁計あり○熊野權現社ハ原宿町あり○善光寺ハ百人町あり永祿元年の創造にして始ハ谷中あり中将姫の毛髪を以て製造せし所の六字比名号あり什宝たり○斥候

塚ハ去我苦塚とも云ふ百人町の通り旧田村下総侯の邸内より相傳ふ金王磨斥候の塚ふりと此塚に登りて四方を顧望すれば二里三里の間ハ掌中ふらふ如く富士見坂を淡谷宮益町より西へ下るも云ふ斜に富士の峯は對ふ相模街道ふり○道玄坂を富士見坂の下耕地を隔て、向ふの方西へ登る坂を云ふ相傳ふ和田義盛が一族大和田道玄の殘黨此所の窟中隠れ居て山賊を業とす故に道玄坂と云ふと○道玄物見松を道玄坂を登りて七丁計り西の方よりありとも明和の頃枯たまりと里諺云道玄此松樹に登りて往來の人を見下し小賊を命じて衣服物を奪ひ採らしめたりとも云へり

四谷區

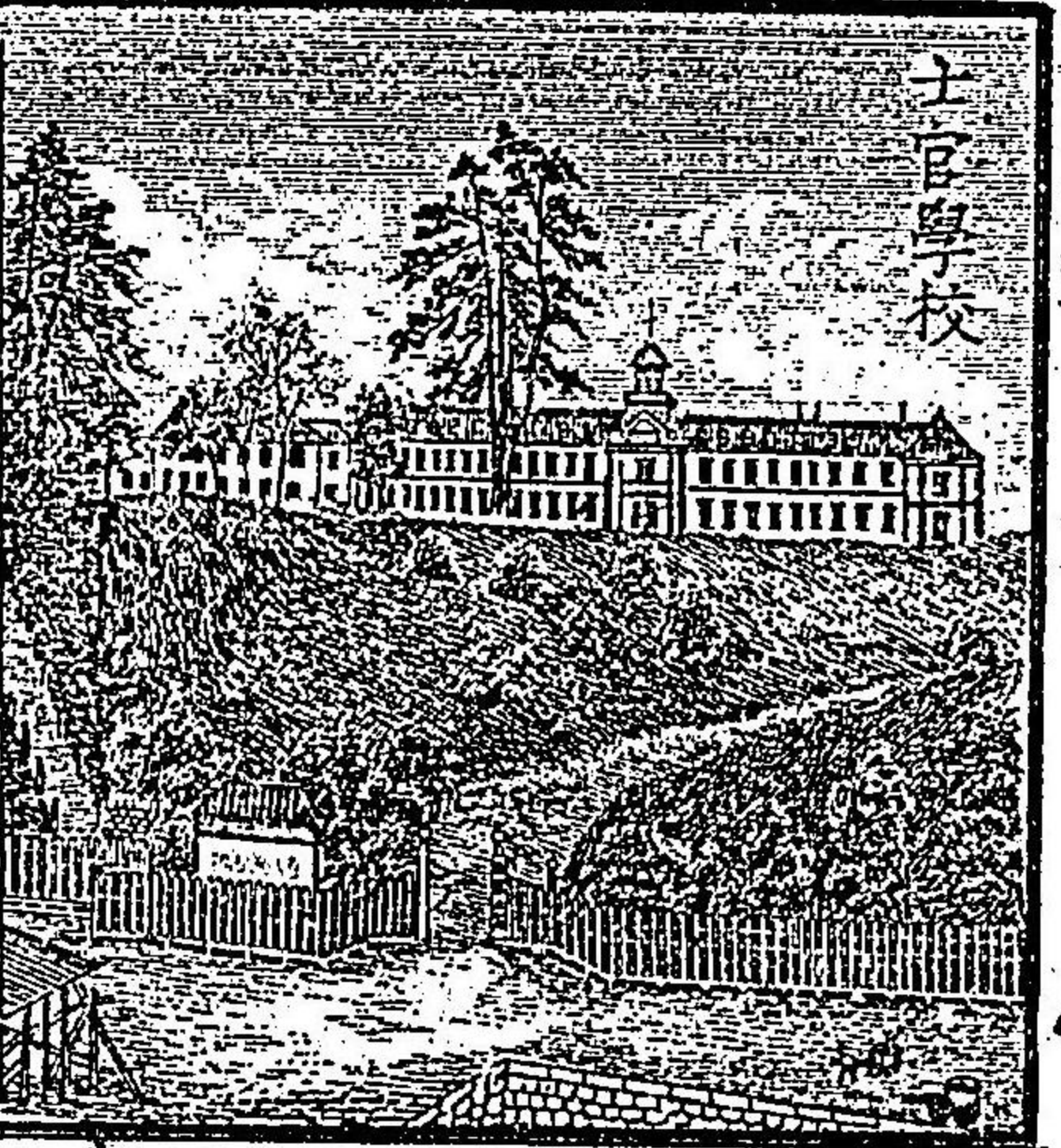


此區ハ皇城の南小橋を東ハ籠町區より北ハ牛込區に接し西ハ南豊島郡内藤新宿總田村に犬牙相接し南ハ赤坂區に隣り○午頭天王社ハ傳馬町二丁目と二丁目間の横町を入りて二丁計西にあり素盞鳴尊を祭る○鬼子母神ハ南寺町日宗寺にあり○戒行寺谷ハ戒行寺の下ふらり○戒行寺ハ日宗寺の隣にあり総門の額に妙典山と書せしハ朝鮮国李彦の書あり○汐子觀世音を戒行寺の

喪ふあり○忍原も四谷通の小  
 名あり今終に忍町の名を存す○  
 篠寺ハ塩町三丁目小あり長善寺  
 と云ふ天正三年の神創より寛永  
 の比將軍鷹府のとき篠寺と呼ひ  
 此地を賜ふ故に其証として今も  
 堂前方三尺計の地ハ小篠の堂に  
 あり総門の額ハ永平寺承天和尙の  
 筆なり○四谷大木戸ハ青梅及甲  
 州の街道より土俗霞関とも旭ヶ  
 關とも云ふ古関あり○津守の瀑  
 る旧津守邸内小あり瀑を玉川上  
 水とり盛夏浴をる者多し○敷の  
 湯ハ瀑の上より浴室の美麗な  
 る小を驚かす者ふし湯治料六銭  
 あり

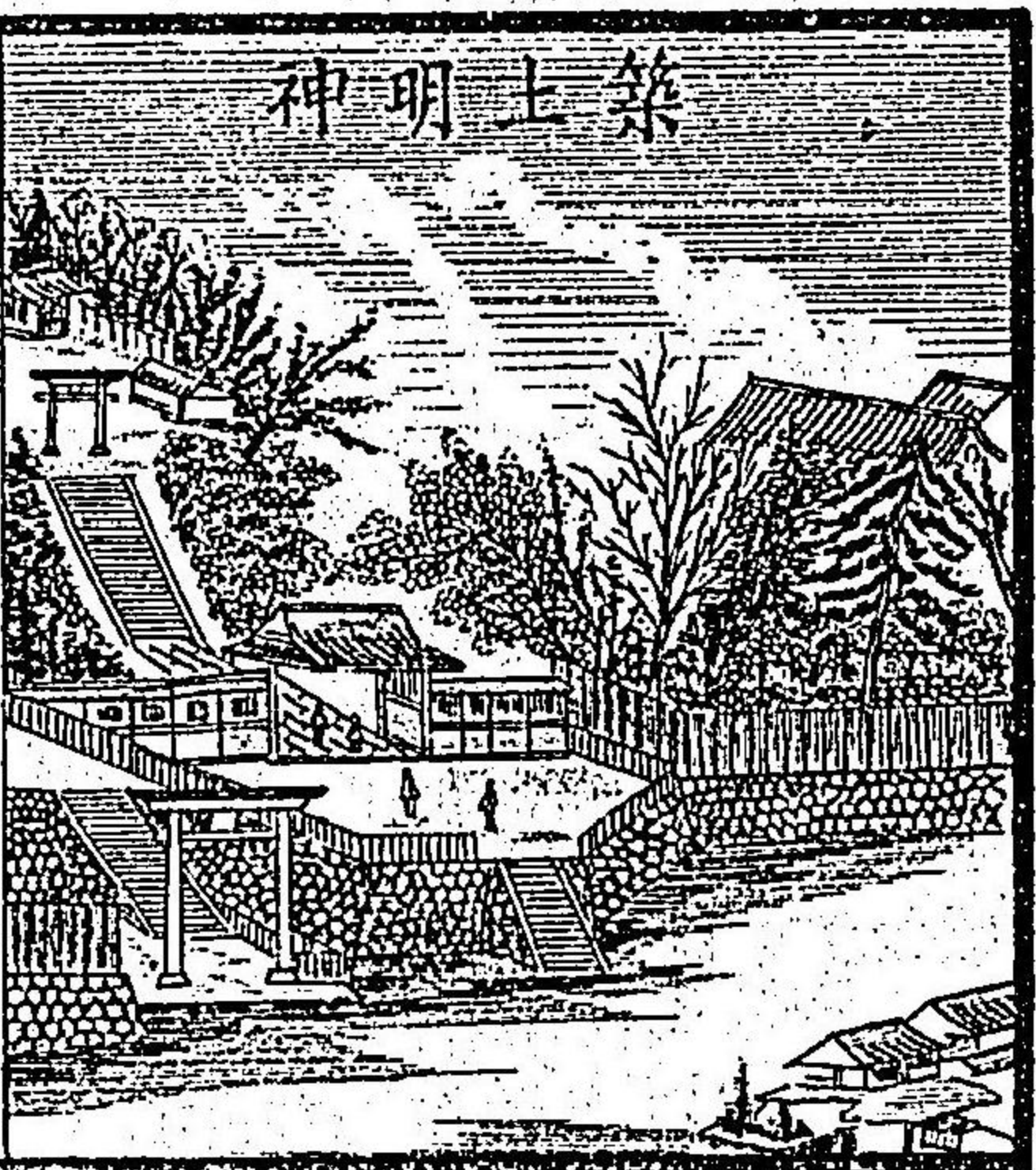
牛込區

牛込區も牛込市谷の地と口の皇  
 城の西北に位す東南を外濠に隔  
 て靴町區に對し南ハ四谷區に連



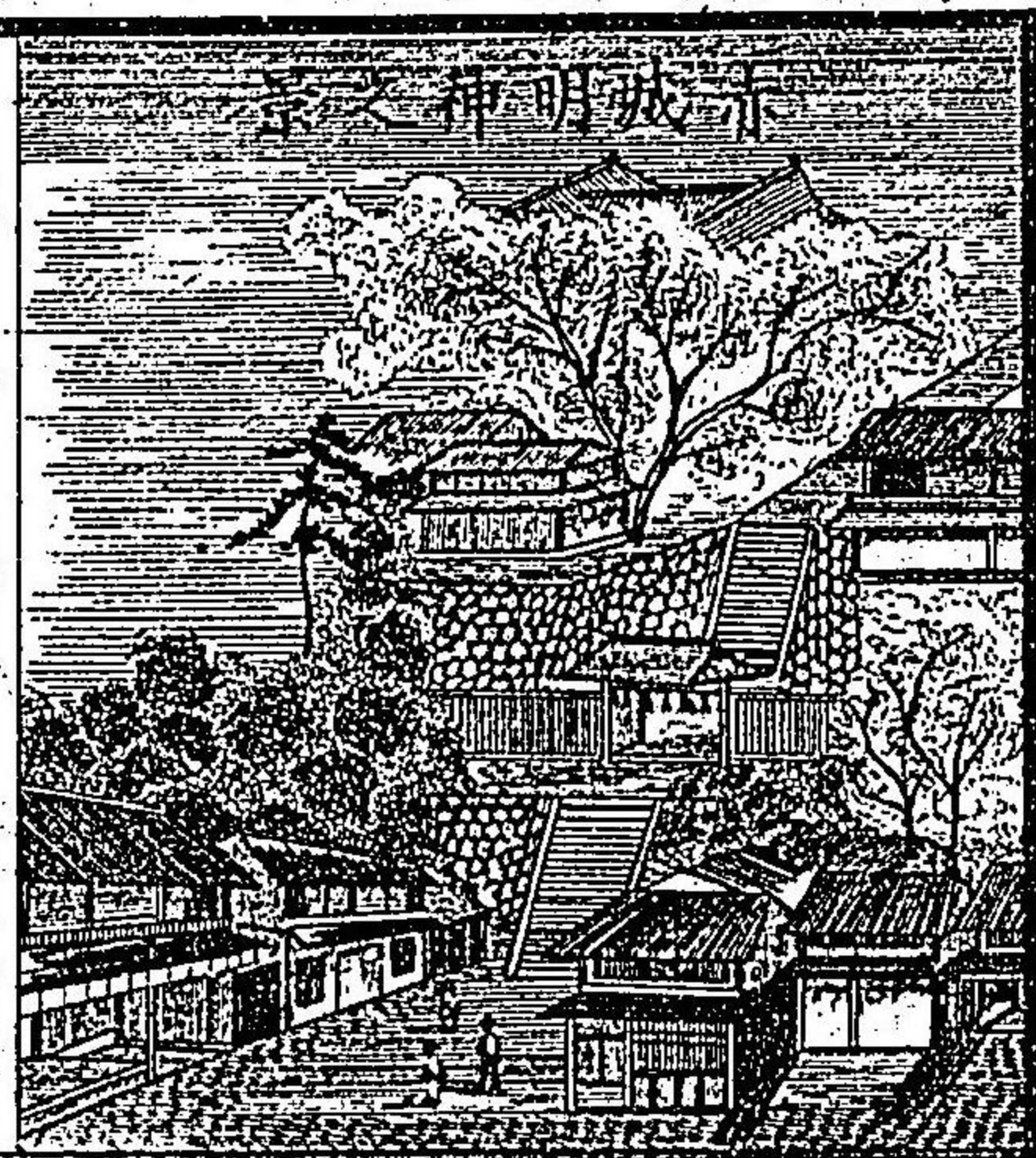
り東北ハ小石川區に接し西北ハ  
 南豊島郡大久保高田諸村に隣る  
 ○陸軍士官學校ハ市谷木村町に  
 あり陸軍士官を養成する所たり  
 ○市谷八幡神社ハ市谷御門外電  
 ヶ岡にあり昔ハ社頭壯麗なり  
 天正年間兵燹小罹りより再  
 興ハありたりとも古の比はあり  
 す以前湯島天神社内と此まかけ  
 ましと云男色をひさご首ありと云  
 近頃辻揚町場等あり○稲荷山  
 藥王寺ハ東光院と号け八幡神社

より西北の方河田窪小ほり開山  
 を澄覺と号す本尊蔡師如來弘  
 法大師天台四明の洞の灵石を得  
 て彫刻せし灵石ふりと云ふ○月  
 桂寺を蔡王寺より三丁計を隔て  
 西南の方あり當寺へ文祿年  
 間の基立ふして雪山和尚開山た  
 ら本尊釋迦如來ハ天竺佛よりて  
 鑑真和尚携來する所の灵石ふりと  
 云ふ○安養寺も市谷の谷町まほ  
 り林泉院と号す天正二年の創造  
 よりて本尊阿彌陀如來へ惠心僧  
 都の作よりて京師真如堂の本尊  
 と同木ふりと云ふ○蔡王寺ハ安  
 養寺を去る四丁計ふある古監ふ  
 り○津久戸明神へ築土銀町小あ  
 ら相傳ふ天慶三年相馬將門誅せ  
 られし後其首を當国江戸平川の  
 觀音堂へ移し是を祭りて津久戸  
 明神と稱せ文明十年戊戌太田道



灌江戸城の鎮守として宮社を造  
 立すと云ふ當社を昔平川の地よ  
 ありしを天正七年田安の地よ遷  
 座又元和二年今の地へ移す中古  
 田安の地よありし頃ハ田安明神  
 と唱へり○津久戸八幡ハ明神小  
 並ひてあり應神天皇神功皇后仲  
 哀天皇を祭る○逢坂ハ神樂阪の  
 西よあり奈良帝の御宇小野美佐  
 吾の故事あり○幽霊阪も神樂坂  
 の西よあり是又同一故事ふり○  
 神樂坂ハ牛込御門外ふあり昔市

谷八幡神社祭禮の時ハ神輿を此  
 門ヲ居ヘ神樂を奏スル故此名ハ  
 リト云フ○若宮八幡ハ若宮町小  
 あり文治五年源頼朝奥州平治の  
 後鎌倉鶴岡の若宮八幡宮を此ヨ  
 移すと云フ○行光寺ヲ神奈坂の  
 上ヨあり本尊千手觀音大士の像  
 々惠心僧都の作ナリ頼朝慈愍の  
 尊像ト稱フ○牛込城跡ハ幕店辺  
 ヲあり天文の原牛込宮内少輔勝  
 行の居城ナリト云フ○閻魔堂ハ  
 寺町ヨあり○松源寺ハ閻魔堂の  
 向側ヨあり○正藏院ハ横寺町ヨ  
 あり○赤城明神ハ神奈坂通ヨリ  
 北の裏ヨあり奈神ハ上野國赤城  
 山ト同一○御殿山ハ赤城明神の  
 東の地ト云フ寛永の頃將軍放鷹  
 の時の儲ナリトて別館ナリト云  
 フ○濟松寺ハ横町ヨあり○大友  
 義延旧館ハ横町濟松寺の町ヨハ



リト云フ相傳々文祿二年大友  
 義延朝鮮征伐の役ヲ補ギといヘ  
 とも武倫急あるを以テ豊臣大閥  
 罪一テ當國へ迂一此地ヨ蟄居セ  
 一むと云フ○大友松ヲ天神町ヨ  
 あり○宗柏寺ハ濟松寺の向横小  
 路ヨあり○宗參寺ハ并天町ヨあ  
 り太胡重行同勝行父子の墓ナリ  
 榮の梅モ此寺ヨあり○千手院ハ  
 七軒寺町ヨあり本尊千手觀世音  
 の像及脇士多門持國の像共赤拵  
 檀一ト毘首羯磨天の作ナリト

云ふ○幸國寺々原町あり當寺  
 小安置の日蓮大士の像々世々布  
 引の御影と稱す由緒あり○赤城  
 明神の旧地々早稲田大田圃の小  
 川に傍てあり大胡氏初て赤城明  
 神を勧請せし所たりと云ふ○三  
 國傳來千手觀音を高田馬場下西  
 方寺よりあり往古弘法大師唐土青  
 龍寺の惠果阿闍梨より授與せら  
 れし中印土の靈佛なりと云ふ自  
 樂居士の墓も此寺よりあり○あら  
 ぬ櫻々誓願寺よりあり岳枝櫻あり  
 ○金川々穴八幡の前々早稲田の  
 方へ流るゝ小川と云ふ今々古川  
 と云ふ○穴八幡々高田八幡宮と  
 云ふ此地を戸塚とも云ふ光松と  
 云ふ松境内よりあり○毘沙門々神  
 樂坂の上よりあり毎月寅の日士女  
 群集し植木屋等夜見世多し○陸  
 軍士官学校々市谷本村町よりあり



陸軍士官を養成する處たり○戸  
 山學校々下戸塚町より陸軍士  
 官小兵器を傳習する處あり○秋  
 葉神社々矢來町酒井氏邸内小あ  
 り櫻樹多し

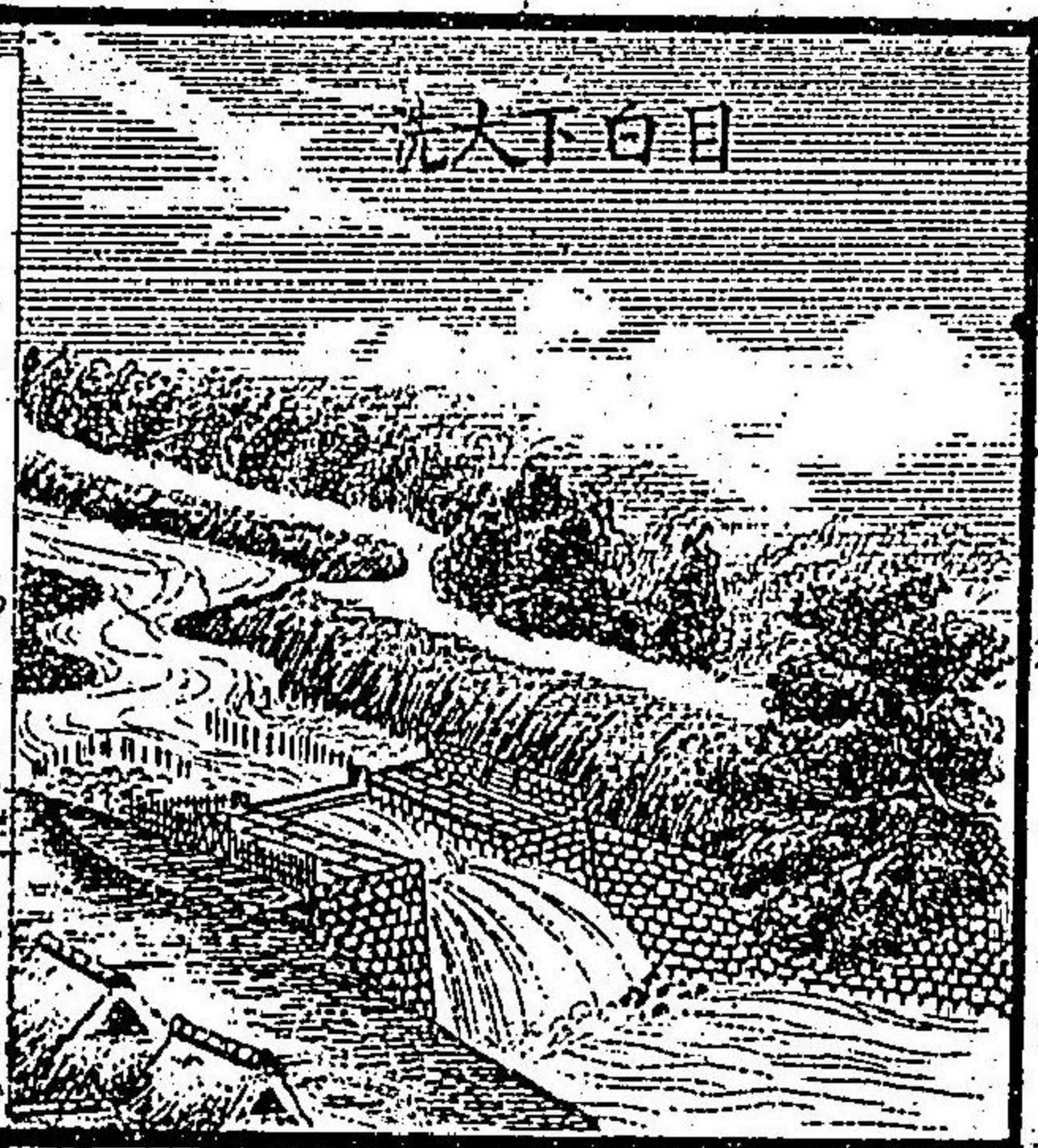
小石川區

此區々皇族の北よりあり江戸川神  
 田川を以て南豊嶋郡よりあり○砲  
 兵本廠々水道橋外旧水戸邸よりあ  
 り銃砲彈藥を製造する所あり○  
 後樂園々砲兵本廠内よりあり源光  
 園創造する處より今猶存し樹

小石川區之部

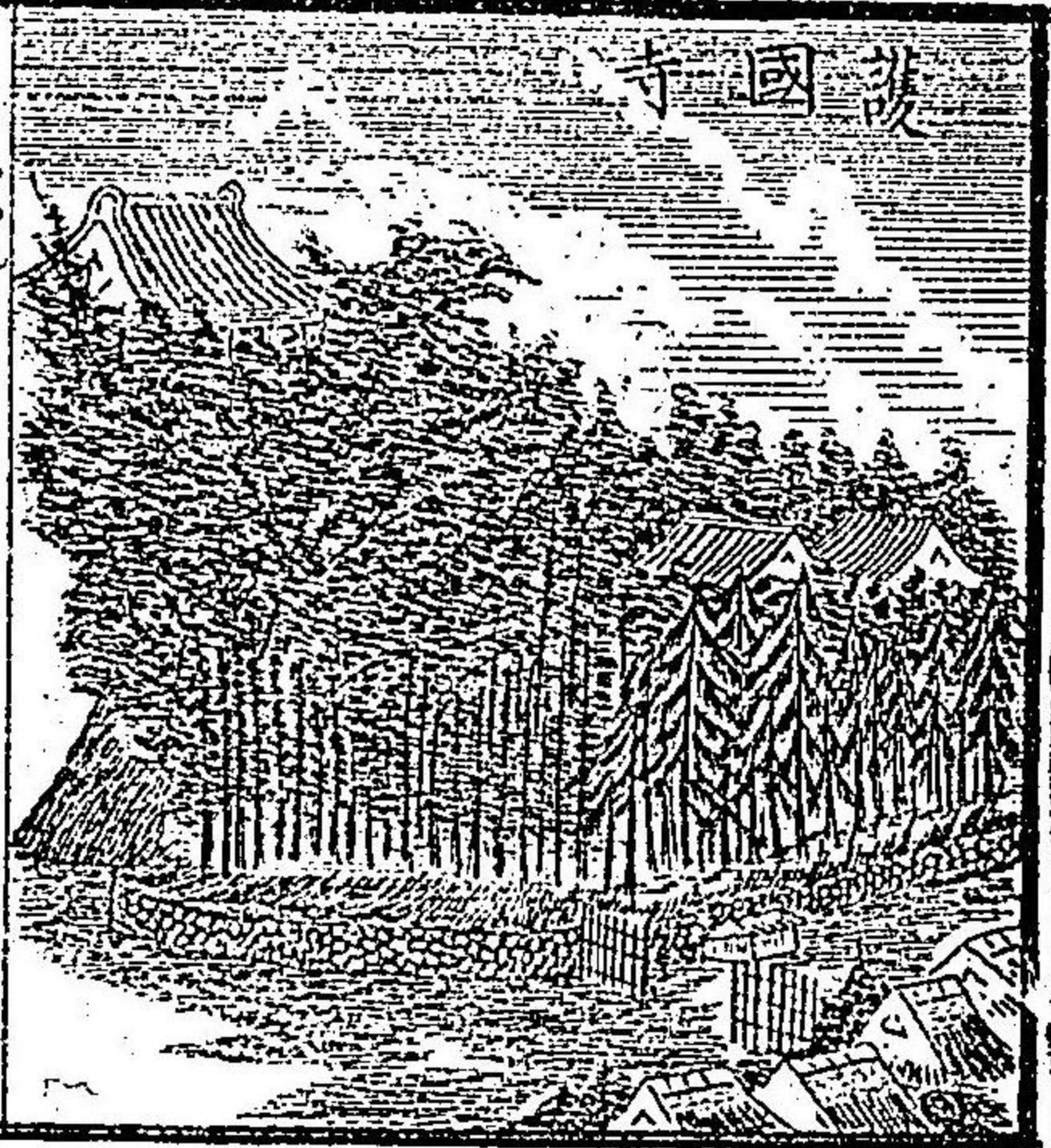


緑水消く風趣幽遠あり○神田  
 上水々西より來り關口に至りて  
 二派となり一が小日向水道町を  
 過ぎ砲兵本廠内を歴て伏宮を通  
 一が江戸川を過ぎ神田川に入る  
 ○牛天神を水道端にあり金杉  
 天神とも云ふ神像を首神自ら彫  
 刺せりと云ふ○牛石を頼朝勝杖  
 石とし云ふ牛天神社内にあり○  
 諏訪明神を諏訪町にあり祭神を  
 健御名方命より○金剛寺を金剛  
 寺阪の下にあり○鎌倉右府將軍  
 實朝の塚を金剛寺にあり○道祖  
 神を金剛寺より二丁計西にあり  
 明徳年間勧請より○永川神明  
 社を道祖神より西二町計にあり  
 ○大日堂を大日阪にあり本尊大  
 日如來を慈覺大師唐より携來る  
 所の靈佛なりと云ふ○大洗堰を  
 目目の基下にあり兼應年間井頭



の池水江戸城に通し時餘水を分  
 たんのめめ築一あり○龍隱庵ハ  
 水道端にありて景色好し○五月  
 雨塚を龍隱庵にあり龍隱庵之景  
 色ハ江州瀬田の義仲寺を髣髴た  
 るを以て伊師白兔園宗瑞及馬光  
 等の建一所と云ふ○水神社ハ龍  
 隱院の並にあり祭神ハ阿象女を  
 り○椿山八幡宮ハ水神社地にあ  
 り○駒留橋ハ竜隱庵の前をあり  
 頼朝のありと云ふ○拾穂軒北村  
 季内翁別荘旧地ハ目白臺旧松平

氏の邸中と云ふ○山の井の今や  
 埋めて名のみと存す○時鳥ハ此  
 辺の名として外より早くと云ふ  
 ○幸神社ハ菟田彦命と祭る道山  
 幸神と云ふ○目白不動堂ハ堰口  
 涯に臨む本尊不動明王の像を弘  
 法大師の作り境内風光好し○  
 關口ハ幡宮ハ目白阪の半段左側  
 あり○大塚ハ小石川原町の邊  
 より護國寺の邊迄の惣名あり○  
 本傳寺々大塚町横小路あり○  
 波切不動尊ハ大塚町の右あり  
 ○大慈寺ハ大塚上町あり本尊  
 葵正觀世音の像ハ南大竺毘首竭  
 磨天々唐の誓文會誓首勲の作  
 りと云ふ○鳩巢室先生の墓ハ同  
 一阪下あり○護持院々音羽町  
 の北あり○解ヶ池ハ護持院の  
 境内あり○護國寺ハ護持院の  
 並あり本尊觀世音ハ瑪瑙より



て天然の者なり○西國三十三番  
 順札所の爲ハ護國寺の境内に  
 あり四時艸木の花絶る事ありと  
 云ふ○星谷の井護國寺の西の谷  
 あり符水薬水を求める人多し今  
 跡を存するのみ○本浄寺ハ小篠  
 阪あり○傳通院ハ牛瀬神あり  
 乾の方二丁計あり境内宏闊よ  
 して旧政府の時ハ寺領ハ百石だ  
 り明徳年間の艸創あり○大黒天  
 々傳通院の内あり甲子の日参  
 詣多し○多久藏王稻荷社開山堂  
 小石川區之部

并財天祠等皆傳通院の境内あり  
 ○光圓寺ハ久保町あり医王  
 院と稱す○本本藥師如來ハ光圓  
 寺あり本尊ハ行基菩薩の作  
 して慈母藥師女の御影と摸す故  
 女體ありと云ふ太平十三年南紀  
 熊野權現へ參籠一歸途傍ある  
 杉の木を得て藥師如來及六の阿  
 彌陀を造り諸町分つと江戸の  
 六阿彌陀を即こまあり○宗慶寺  
 光圓寺より西北三丁計あり  
 ○極樂水ハ宗慶寺の境内あり  
 吉水とも云ふ○瑞鳳山祥雲寺ハ  
 戸寄町あり○茨木春朝墓を祥  
 雲寺あり○白山神社ハ猪谷町  
 あり○植物園ハ久堅町あり  
 文部省の設る町あり植物の科目  
 か分て種裁一以て其學門を為す  
 者の參照供○初音の里ハ植物  
 園の邊を云ふ里謬ハ東京の時鳥



此處あり發聲す故ハ初音と云  
 ふと○白山御殿の旧跡ハ植物園  
 の地ふるへー○氷川明神社ハ植  
 物園より西北五町計あり千有  
 余年と経る旧社あり○猫狸橋ハ  
 氷川社の西小石川の流架せり  
 本郷區

此區ハ皇城の北ありて本郷湯  
 嶋駒込等の地并せ南ハ神田川と  
 隔て神田區と對し西ハ小石川區  
 接し東々下谷區と境し北ハ北豊  
 島郡下駒込村西ケ原村と連る○  
 本郷區二部 二十九

妻戀神社ハ妻戀阪ヨリ食稻窟  
 神日本武尊弟橘姫命ヲ祭ル日本  
 武尊東征の頃行宮の地ナリト云  
 フ橘媛入水の事ヲ歎キ吾婦者耶  
 と戀ヲ一ヨ因リテ妻戀ト云フと  
 かん○湯島天神ハ妻戀明神の北  
 ヲあり太田道灌の創立ナリ眺望  
 富み茶舗あり揚戸場あり○圓  
 満寺ハ湯島二丁目ヨリあり本食寺  
 と稱す○靈雲寺ハ圓満寺の北ヨ  
 あり○隣祥院ハ湯島大神社の北  
 ヲあり○根生密院ハ延壽寺ト稱  
 す隣祥院の東ヨリあり○東京大學  
 醫學部ハ本郷富士丁ヨリ建築  
 廣大ナリ○根津神社ハ上野ヨリ  
 五丁計乾の方ヨリあり旧政府徳川  
 氏の忠臣ヲ奉養爲尊ト合祭セー  
 神社ナリ忠臣の事ハ歴史ヲ委シ  
 境内ト曙の里トイヒ昔ハ四時花  
 の絶ルことナク騷人の風詠スル



處ナリとも今ハ風光却テ好ラ  
 ナ惣門の内繪テ遊女町トナレリ  
 廣帯せし遊女の居ル也此処小の  
 みあり○大觀音ハ千駄木七軒町  
 小あり寺ハ光源寺ト云ふ立像ヨ  
 テ一丈六尺あり○千駄木阪ハ旧  
 名ヲ潮見阪ト云ふ又七面の宮あ  
 ル故ナド面阪とも云ふ○淨心寺  
 ハ丸山片町ヨリあり○目赤不動堂  
 ハ浅香町小あり○吉祥寺ハ不動  
 堂の北一丁計ヨリあり○神明宮ハ  
 吉祥寺の北二丁計小あり○富士

淺間社ハ神明宮と同所あり○  
團子阪ハ植木屋多ク菊花の候騷  
人遊者多ク此頃々造菊見物料二  
錢かりと云ふ○雞津ハ駒込曙  
町の辺を云ふ○鰻籠手々駒込有  
町の辺を云ふ○追分ハ板橋岩附  
の岐路なるを以て此名あり

下谷區

此區も皇城の東北より下谷上  
野の地を占む東は淺州區三隣り  
南ハ神田區小接し西々本郷區小  
境ハ北ハ新堀野込諸村より連り其  
東北から下谷通新町同原宿町等  
の一角ハ箕輪金杉諸村小斗入ナ  
○東叡山寛永寺ハ上野の阿まあ  
り旧圓頓院と稱す寛永年中比叡  
山延曆寺小比して慈覺大師剎創  
ナ山内櫻樹多ク中小も山王社の  
辺を櫻の峯と稱し櫻樹多ク備官  
羅山翁裁る処たりと云ふ旧政府



の時ハ坊舎三十五宇勸学堂百  
戸あり其他講堂経藏社殿を鏡  
の戊辰五月兵燹小罹り金殿玉樓  
灰燼とされり○清水觀音堂ハ山  
内小あり西京清水寺小比して舞  
臺作りかり本尊觀音ハ惠心僧都  
の作かり此辺茶店多ク○秋色櫻  
ハ清水堂の井の傍よりあり虎の尾  
と稱するも是より○東照宮ハ山  
内小あり徳川家康を祭る寛永三  
年の創建かり老樹鬱蒼として宮  
殿ハ粧飾彫刺細美を極めたり

石燈籠石華表皆旧諸候の献する處あり○大石燈籠ハ佐久間勝之の献する處にして高さ二丈余り笠石の総り一丈二尺あり京師南禅寺尾州熱田社とを合せて日本三大石燈籠と云ふ○大佛ハ石燈籠の傍にあり丈二丈二尺余方治年間の作なり○不忍の池ハ東嶽山の麓にあり廣袤十町許池中蓮多く花の頃ハ紅白艶を争ひ近頃四圍小柳を植へ殊東景色宜し○弁天ハ不忍池中の半島にあり昔ハ島嶼かりし今ハ地續の半嶋とかり便利よし茶店酒肆ありて夏涼秋月宜し詩人墨客の雅集若識絲竹の會あり催す處たり青銅華表の額ハ廣沢の書なり○教育博物館ハ勸業博物館に向ひ左の方小あり縦貫貫ふし○瑞林寺ハ上野清水門の北二三丁にあり



不忍池  
 行徳橋  
 無名寺  
 秋風  
 滴入西湖  
 不忍池  
 ○感應寺ハ上野谷中門の外にあり○本行寺ハ感應寺の北の通にあり○法住寺ハ谷中三寄町にあり○妙林寺ハ法住寺の西にあり○永昌寺ハ下谷大通にあり天正年間草創ふりと云ふ○廣徳寺ハ同町にあり旧相州小田原よりして天正十九年江戸神田の地に移し寛永の末今の地に移と云ふ総門ハ名匠の規矩する町にして是迄風火の難ふりと云ふ○下谷稻荷社ハ廣徳寺の前よりあり○

五條天神宮ハ上野山の麓にて巽の方あり○常楽院ハ五條天神比南忍川の向あり本尊阿彌陀如來行基大士の作よりて東京六阿彌陀の一よりて第五番也春秋の彼岸中より賑へり○後玉院と下谷阪本一丁目の南より釋迦涅槃の像の画軸一幅を藏す上は慈眼大師の識あり○善養寺と延壽院と号す阪本一丁目の左側より慈覺大師の草創よりて本尊も慈覺大師の作ふりと云ふ關魔堂の關魔の像ハ運慶の作ふりと云ふ○小野慈覺明神社ハ善養寺の右三丁目よりあり小野靈の灵も祭ふと云ふ○天王寺ハ谷中よりあり境内今ハ埋葬地とふる五重塔等今獨存せり

淺草區

此區ハ淺草川沿岸の地よりて神



田川と沈み束々淺草川を隔て本町區及ヒ小梅須寄寺瀧の諸村より對し西より神田下谷二區と接し北より橋場千束龍泉寺の諸村より入せり○淺草橋ハ日本橋區より淺草區へ入る橋を云ふ柳橋と並り○淺草川を隅田川の下流よりて旧名を宮戸川と稱す白魚鱧の二品を産す饅頭鮫も又佳品とす○駒形堂ハ駒形町の河岸あり往古ハ此所淺草寺の総門ありと云ふ堂の傍放生祭の碑あり

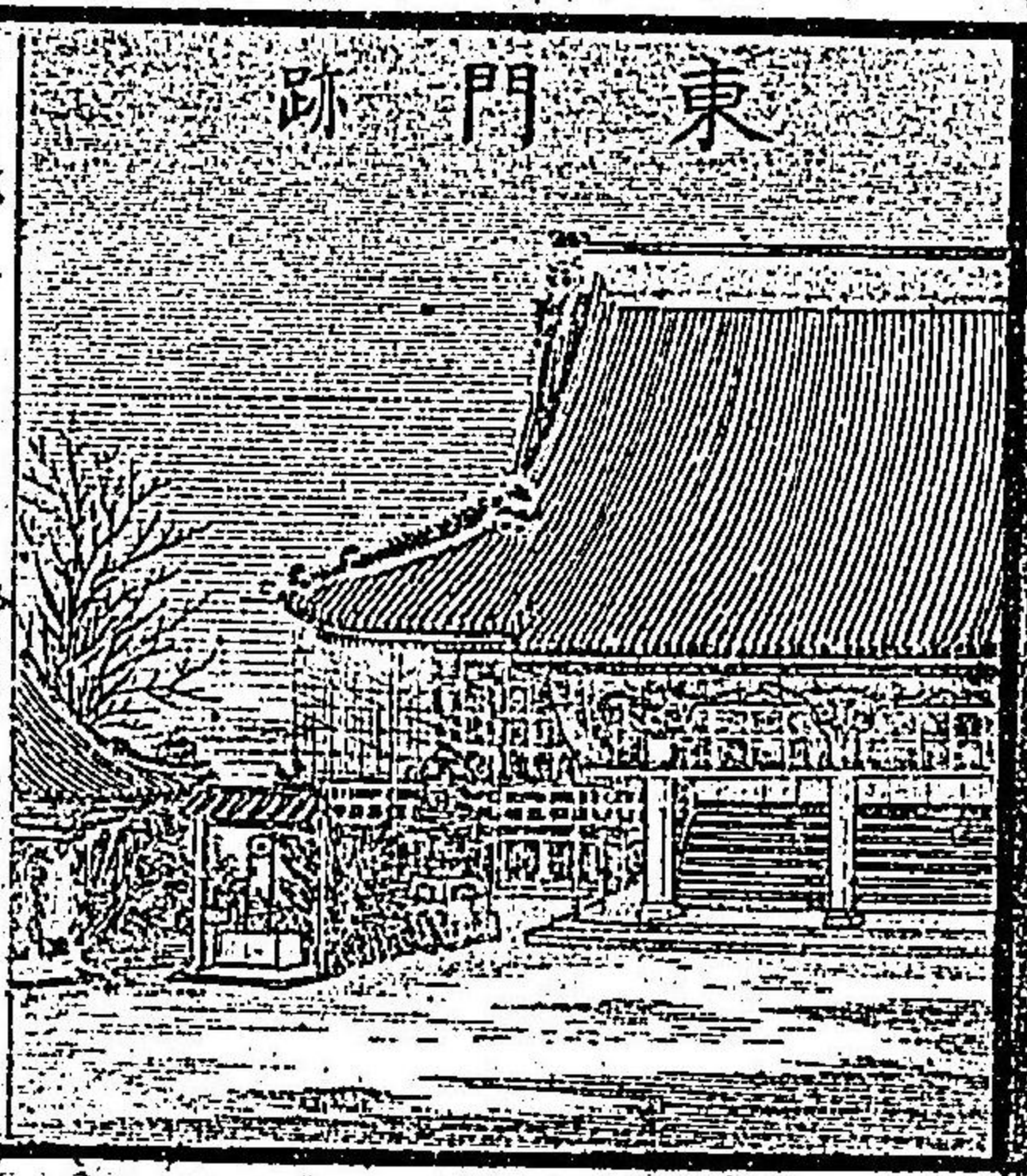
り○三島明神社を駒形町の西あり○清水雅荷社を駒形町あり神休ハ如意寶珠ありと云ふ○諏訪明神社ハ諏訪トあり○樞寺ハ黒船町あり正覺寺ハ彌古より當時名ある大木の樞あり故号すと云ふ○石清水八幡宮ハ八幡町あり○殿橋ハ三好町より本町石原町へ架す此町以前ハ渡場あり○明治七年九月新橋落成せり此橋ハ日比野和田の二氏自費を以て造營一九ケ年半の間一人ハ付一厘五毛づ、渡賃を收む○關懸堂ハ八幡宮より南方二三町計あり○奪衣婆化馬地藏尊花山觀世音の像も關懸堂と同一く長延寺あり○祇園社ハ關懸堂の南隣あり十王堂境内あり○銀杏八幡ハ福井町あり源義家の建立なり義家



奥州征討の時銀杏の一朶を刺して誓ふことあり其銀杏延享二年の秋迄存せりと云ふ○第六天の社ハ浅草橋外あり祭神ハ面足尊惶根尊なり○篠塚稻荷社ハ旧社なり昔篠塚伊賀守當社を信仰し暁入道して社の傍に庵室を結いて住と別當土藏院々其裔孫ありと云ふ○鳥越の里ハ鳥越明神の辺より御藏前の辺迄を云ふ○鳥越明神ハ元鳥越町あり最古社おむとも旧記等散失して勸

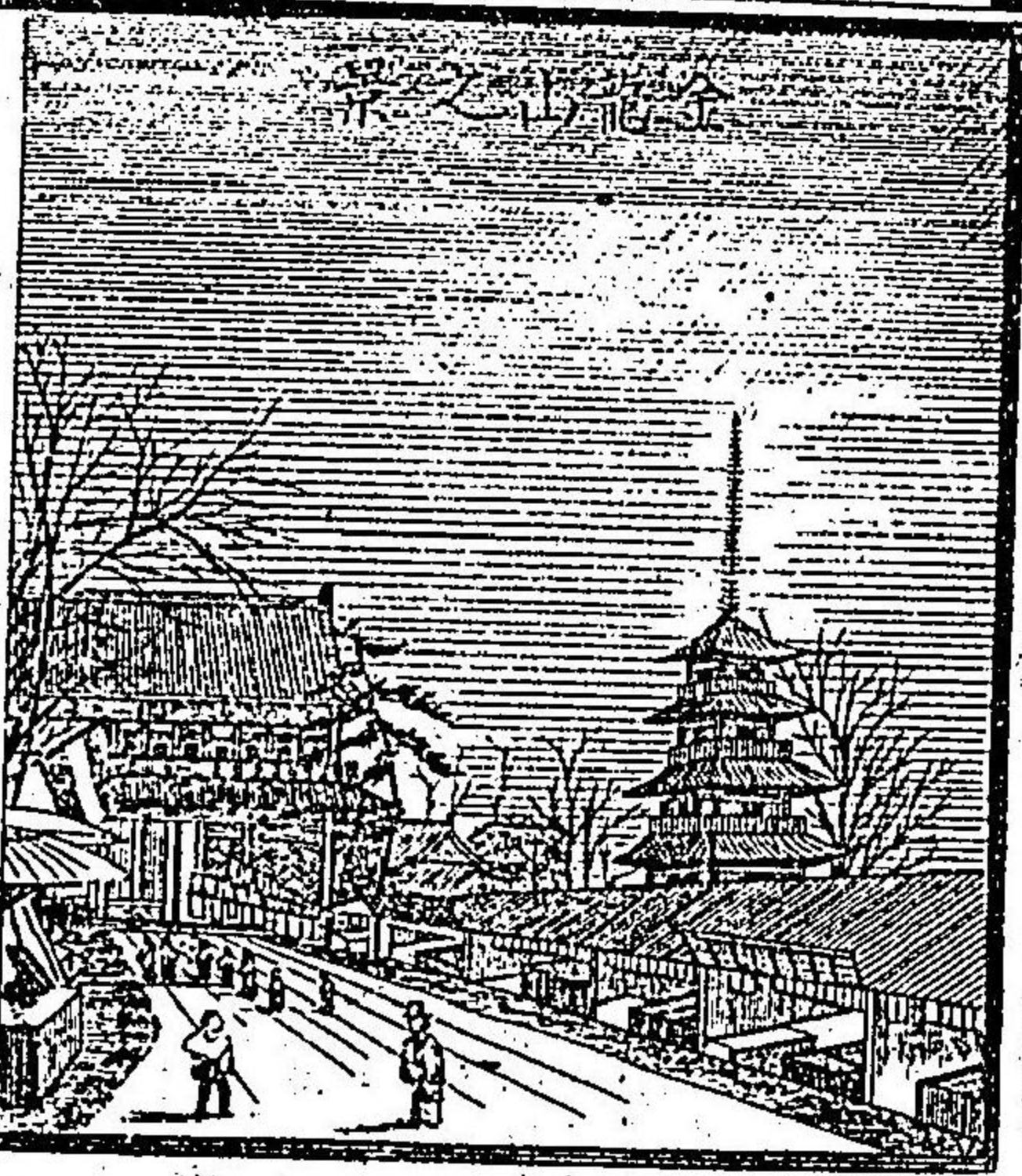


請の年月來山等詳ならず○西福寺ハ辰雲院と号す鳥越明神の東三丁計あり本尊阿彌陀如来ハ安阿彌の作ありと云ふ○淨念寺ハ西福寺の北の通あり○医王院ハ淨念寺の北あり○手向野ハ金龍山の辺と云ふとも寺町東陽寺の境内と云ふともいふ○東門跡ハ松清町あり東本願寺と云ふ堂宇宏大なり○報恩寺ハ謝徳院と号す門跡の東隣あり旧下総國あり古寺あり寺寶親鸞上人の像五色佛舍利本尊十字名号同九字の名号珠數一連親鸞上人書教行信証一部六卷蛇反劍松風茶碓茶人笈等三十余品あり○誓願寺ハ快樂院と号す東本願寺の北あり○日輪寺ハ誓願寺の北あり○天藏院ハ遍照寺と号す日輪寺の西隣あり本尊



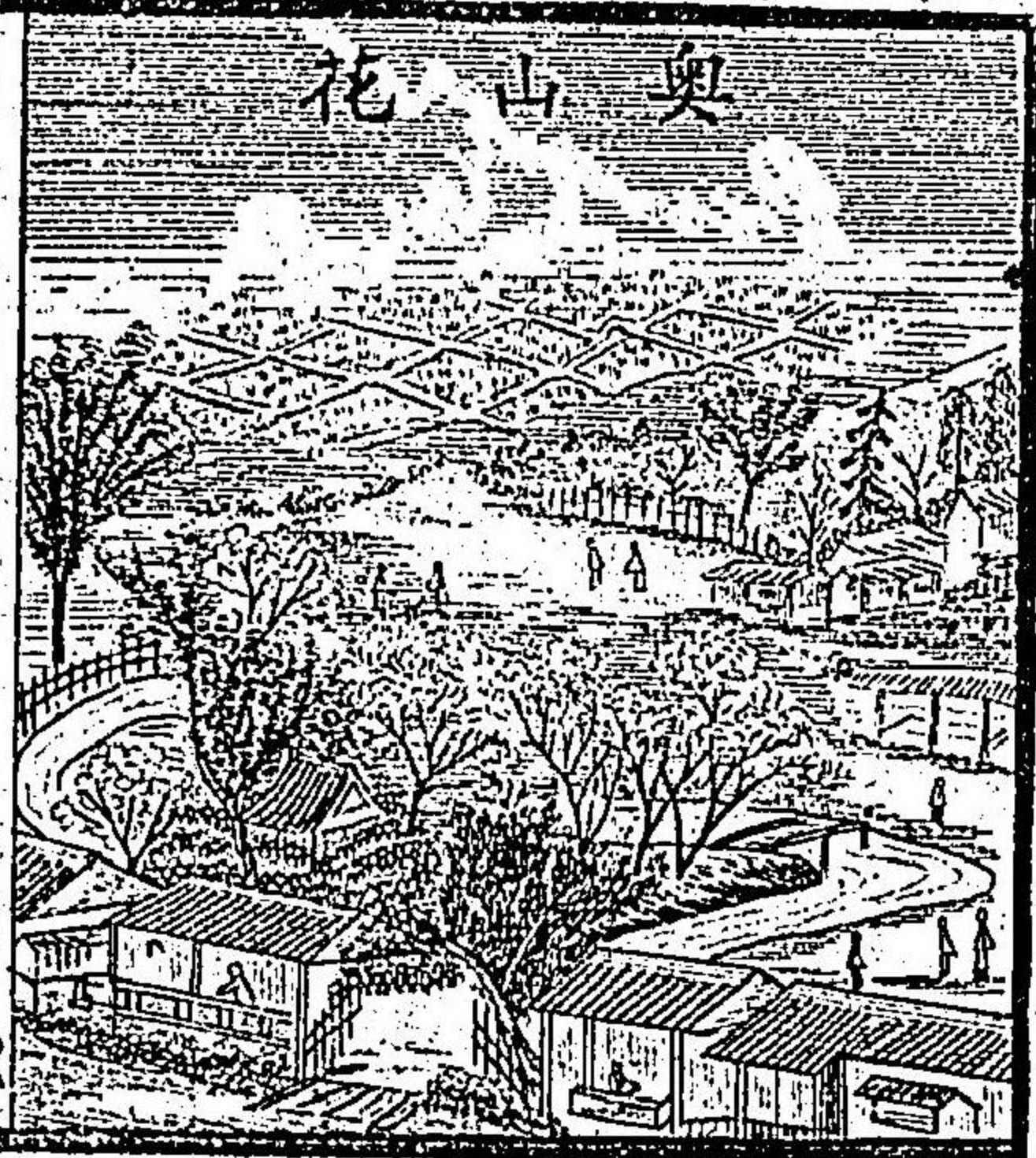
手島觀世音唐佛ありて僧良真入宋の時首王山能仁寺より將來せしものなりと云ふ○稱往院ハ遍照寺の西隣あり捨世寺と号す○東光寺ハ稱往院の西隣あり醫王寺と号す○海藏寺ハ新堀の小川を隔て、西の方小あり平親王將門の創建なりと云ふ○清水寺觀音を海禪寺の向新堀端小あり○上宮太子堂ハ清水寺觀音の二丁計坤の方小あり寺と聖徳寺と云ふ旧ハ本根澤あり

云ふ○厄除太子堂々慈眼寺よあり聖徳太子四十二歳の時自刻せし像なりと云ふ○祝言寺々厄除太子堂の西南よあり○日蓮大菩薩々新寺町より半町計西南の方長遠寺あり○隨意院々新知恩寺と号す妙龍水と云ふ清泉あり○信州善光寺の燈明々寺町赤城山燈明寺と云ふ寺あり○金龍山浅井寺々傳法院と号す境内今公園地となる本尊々觀世音菩薩より長一寸八分と唱ふ推古天皇三十六年土師仲知濟成等の三人宮戸川より得たる履の像ありと云ふ往昔々寺領五百石より坊舎三十六院あり境内未だ多く賽詣群集して繁盛を極む七十八の両日小々殊々多し本堂の後や奥山と云ふ見世物生人形擲弓場等あり植木屋最名高絶覽料



二錢あり○觀音堂と認めある額ハ明の徐紹勳の筆なり○天井の龍并々内陣の鳳凰後碎の二十八部衆等を狩野永貞の筆あり○拜殿の天井に画る天人々狩野洞春の筆あり○山頭月影云々の聯ハ孟寛の筆あり○古繪馬々七八百年前の者あり曳繩と画を添へハ左甚五郎ありと云ふ此繪馬ハ由緒あり○紅葉狩繪馬ハ紹叔の筆あり○静長刀ハ本堂の後より義経の差御前の納むる所あり

と云ふ○五層塔々山門の内右の方より○轉輪藏も同座あり一切経を藏す○隨身門ハ東の方より豊盛門戸命御盛門戸命の像を置く○三社権現社ハ本堂の良の方より土師臣中知並家入繪前須成武成の靈を祭る祭禮ハ三月十八日より○熊谷稻荷神社も本堂の後より○十社権現社ハ本堂の左の方より十人の卍刈を鎮ると云ふ○念佛堂同所より○閻魔堂ハ本堂の乾の方より額ハ朝鮮國真狂金殿升の筆あり○脱衣袴は閻魔堂中より天海の作ありと云ふ○地藏の古碑ハ同所并の傍より世々長地藏と云ひ又小野小町の石塔とも稱し諸説多し○護摩壇の趾ハ熊野権現の後の垣の中より○護国殿ハ同所より五大明王の像



並し自然木多關天等を安す○淡島明神社ハ本堂の左の方より○錢塚辨財天祠も同所あり○例幣使松ハ同所御手洗池の傍あり○西宮稻荷社ハ山門の前右の方より○平内兵衛像ハ二王門の前右の方より平内兵衛ハ青山主膳と云者の家臣小して強勇の人より祠内石像累々として其幾十箇ふるを知らず○錢瓶辨財天ハ山門の前右の方より世々老女并才天と稱し浅草一ツ

家の鬼婆々を祭り者といふ○  
 石枕ハ坊中明王院の庭中姥ヶ池  
 と云ふ池の傍小あり昔二人の老  
 人あり娘を遊女の如粧ひ行人の  
 袖を引かせ此石の上は於て頭を  
 撲ち殺して衣物を奪由因國雜  
 記に委一〇一権現社坊中頭松  
 院の境内小あり〇六地藏石燈籠  
 を雷神門の外花川戸町の入口に  
 あり〇専堂坊齊堂坊常音坊ハ漁  
 者三人の遠裔小して古より妻帯  
 ふとハ子孫連続たりと云ふ〇新  
 吉原町ハ浅州寺の北より高樓  
 傑閣壯麗を極め其内有名なる大  
 樓ハ稻本樓大文字屋彦樓品川樓  
 角海老等ふり古より春ハ櫻を植  
 へ秋ハ燈籠を付け又賑々等あり  
 其盛了學了ハ暇ふ一燈籠ハ玉菊  
 の追福ハ始ると云ふ〇日本堤ハ  
 凡そ十三丁程ありて昔一道哲と



吉原仲ノ町

挑櫻樹堂樓堂  
 燕子亂飛喜浦香  
 別表有惜花一種  
 不開不落新合騰

云者庵を結び一町ふりも云ふ〇  
 聖天宮ハ今戸聖天町待乳山の上  
 あり隅田川ハ瞰と遠く筑波富  
 土を望む大同年中の勧請よりて  
 平政子信仰の祠ふりと云ふ社後  
 小船宿経妓の家多一〇慶養寺ハ  
 今戸橋の北よりあり〇今戸八幡宮  
 ハ一丁計北よりあり〇長昌寺ハ法  
 源寺の北よりあり〇宗論寺ハ長昌  
 寺の本堂の前よりあり〇法源寺ハ  
 總泉寺の南よりあり〇從二位四辻  
 有理卿の墓碑ハ法源寺境内より

り○齊藤實盛の墓同寺境内より  
 里○鎌倉權大夫景道の石塔も同  
 所より○東野先生の墓橋場の  
 通り福壽院より○浅茅原を総  
 泉寺大門の辺を云ふ○妙龜塚も  
 同所あり梅若丸の母妙龜尼の  
 墳墓ふりと云ふ○古墳一基ハ妙  
 龜塚の下より弘安十一年正月  
 廿二日と彫付てあり○鏡ヶ池も  
 同一所あり傳ふ云ふ妙龜尼梅  
 若丸の跡もあつて來りて死  
 せし事を聞て身を投じ池ふりと  
 云ふ○袈裟懸松ハ池の傍より  
 妙龜尼の衣を懸し松ふりと云ふ  
 ○采女塚も同所より吉原の遊  
 女采女の塚ふり采女も鏡ヶ池へ  
 身を投ぜしとふり○千葉氏墓宇  
 津宮弥三郎入道の墓ハ總泉寺に  
 あり○不動院ハ渡場の南より  
 ○橋場ハ古石濱と稱す源頼朝軍



兵を渡せし松橋を設るを以  
 て今ハ此名あり此辺を新田義興  
 の古戦場ふり○橋場の渡る古隅  
 田河の渡しと稱へ古き渡場ふり  
 ○真先稻荷を橋場より隅田川  
 の流し橋勝地たり境内校の神  
 木あり○思川神社前より橋場へ  
 行く道あり沢入の小溝なり○  
 朝日神明宮も橋場ふり神龜元  
 年の鎮坐と云ふ○石濱の城址も  
 神明宮の北の方ふりと云ふ○煉  
 瓦密を橋場町ふり○浅艸文庫  
 浅草區之部

る旧貢米を蔵せる倉の一庫小して今内外の書籍を蔵し諸人の縦覽に供す縦覽料二錢ふり人此遺を御藏前と云ふ

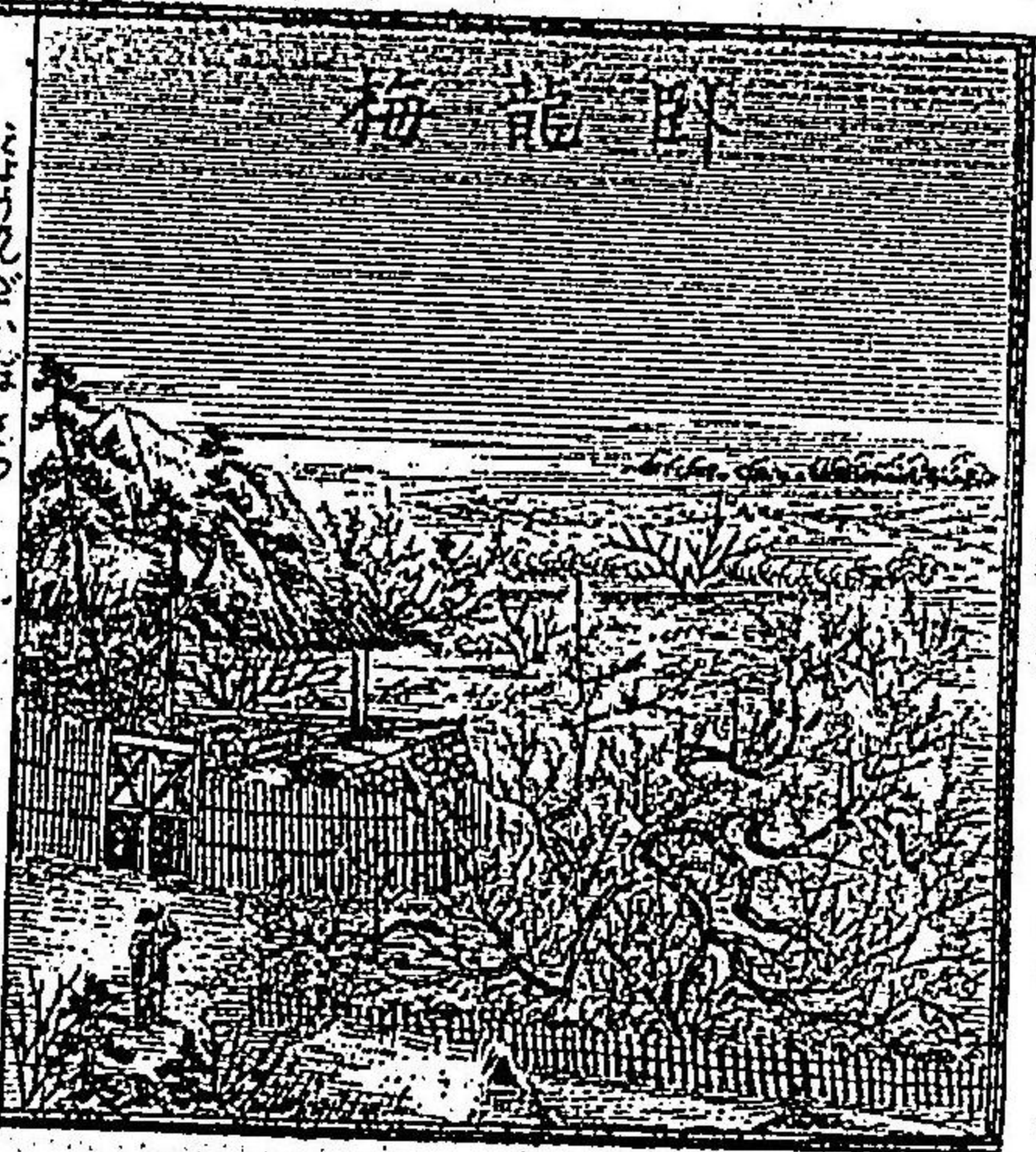
本町區

此區を隅田川以東より南を深川區に接し東北ハ龜戸中郷諸村に連る○田向院を兩國橋の東にあり豊國山と号す明曆三年の春の失火は時焼死の冥魂追福の爲め創設せし所なり例年兩度大角力あり諸寺の出開帳盛なり○備中千休阿彌陀如來三佛堂一言觀音辨才天祠馬頭觀世音日光大師堂阿彌陀如來の銅像寺境内にあり○中村樓を兩國橋の南川に臨てあり書田會演古會等も佳す所なり○彌勒寺を彌勒寺橋の北にあり○辨財天社を一の橋乃南にあり杉山檢校勸請する所なり



○五百阿羅漢禪寺ハ五日堅川より南より河東第一の名盛たり本尊釋迦佛拈華像脇土文殊普賢阿難迦葉及五百の阿羅漢の像皆松雲禪師彫刻する所なり二面堂も境内にあり白衣觀音魚籃觀音彌陀勢至地藏等を本尊とする番の札所觀音の灵趾を模擬して百軀の觀音像殿會上五十二の善知識の僧を安置す今ハ五百阿羅漢の像却て二面堂にありて境内埋葬地とふる○龜戸天神ハ龜戸町本町區之部

小あり境内の太鼓橋及び藤棚等  
 世に名高し○普門院ハ天神社の  
 東二丁計あり御腰懸松慈眼水  
 あり○臥龍梅ハ清香庵と云ふ梅  
 屋敷あり其花一岳よして重瓣  
 潔白よして薫香至て深く形状龍  
 の蟠臥如し園中四方數十丈  
 間蔓て梢高からず枝毎半ハ  
 地中よ入地中を出て屈曲して趣  
 あり○神明宮を同所あり網子  
 榎あり○東覺寺ハ同所南の方  
 あり○香取大神宮ハ二丁計乾の  
 方あり○吾嬭權現社ハ十間川  
 の端あり吾嬭森又浮洲森とも  
 云ふ相生樟あり神宝古鈴一日あ  
 り○太子堂ハ龜戸天満宮の裏門  
 の通あり寺を龍眼寺と云ふ當  
 寺の後園萩多く開花の節は壯觀  
 たり故に世俗秋寺と云ふ○妙見  
 菩薩ハ同じ川端あり○最教寺



妙見大菩薩の西二丁計り有  
 日蓮上人眞蹟蒙古退治の曼荼羅  
 の旗あり○大法寺ハ三丁計西  
 あり三十番神の堂廣布石あり○  
 灵山寺ハ二尊教院と号す法恩寺  
 の北あり知恩院尊空法親皇御  
 廟あり○法恩寺柳島出村町あり  
 三十番神堂あり○業平天神社  
 中の郷南藏院あり在原業平  
 の靈を祭ると云ふ○中郷八幡宮  
 ハ荒井町あり○大六天祠ハ八  
 幡宮の北隣あり○多田葉師堂

大川端あり寺を東江寺と号す  
 ○本久寺ハ北本所表町あり  
 妙源寺ハ北本所番場町あり○  
 菊川ハ菊川町あり往古本所  
 深川の用水ふりと云ふ今ハ纒  
 溝を存する而已○擦燧を製造す  
 る所ハ柳原町あり○金魚を養  
 ふ所ハ二葉町吉岡町あり

深川區

此區西大川を隔て日本橋京橋  
 區に對し北ハ本所區に連り東を  
 平井千田新田に接し南ハ海岸ふ  
 り○富岡八幡宮ハ旧永代島に云  
 ふ所あり足利家累代及ヒ太田道  
 灌崇信乃社にして旧砂村の海辺  
 あり○園女櫻境内林泉のうち  
 小あき歌仙櫻とも云ふ○二軒茶  
 屋ハ社頭あり○洲寄辨才天  
 ハ東海の濱に在八幡神社の傍と  
 り本尊弁才天ハ僧空海の作と云

洲奇之景



彌生の頃ハ都下の士女貝を拾  
 て遊むとす○陽嶽寺ハ富岡橋の  
 北横町あり二代目英一際ノ墳  
 墓あり○海福寺ハ寺町通あり  
 境内池の傍に九層塔あり武田信  
 玄のものなりと云ふ○採茶庵の  
 旧蹟ハ平野町あり俳諧師杉風  
 子の庵室あり○淨心寺ハ正覺寺  
 橋の北にあり境内祖師堂七面堂  
 寺あり○灵岸寺ハ淨心寺の北に  
 隣る宏社の梵刹あり○本誓寺ハ  
 重碩院と号し同一通あり○一



蝶寺より同一東の方海辺新田較の内よりあり宜雲寺と号す○法禪寺ハ同一南の小路よりあり○雲光院ハ光嚴教寺と号し法禪寺の隣よりあり○五本松を小名木川通りよりあり○雲雲院を清澄町よりあり○芭蕉庵旧址を清澄町旧松平遠州侯の庭中よりありて古池の形今猶存じ○神明宮を交下町よりあり○摩利支天社を猿江町よりあり○三十三間堂を八幡神社より東二丁計敷矢町より寛永年間弓師倫後と云へるもの射術舊古の爲め西京蓮華王院を撰りて淺州小營造せし元禄十一年回祿の災より罹りければ此地より移しけるし云ふ維新以後荒廢して埋葬地とふとあり○越中島ハ大砲射撃場たり○銅金を製する家ハ上大島町よりあり



荏原郡

此郡ハ皇城の南より北を豊島郡東多摩郡に接し西を神奈川縣下北多摩郡に連り南ハ同縣下橋樹部小對し東ハ總て内海よりあり○東海寺を品川北馬場より境内粟津橋千歳杉浴鳳池釣玄室孝龍井万年石澤庵和尚の墓縣居大人墓南郭先生の墓鎌倉権五郎景政の灵祠等あり○午頭天王社ハ東海寺の柵門の外左の山の上よりあり○御殿山を谷山の西南より

荏原郡之部

て旧時ハ櫻樹多く花時遊客の族  
 一町ふり○谷山ハ品川驛の北小  
 あり○問谷河岸ハ新宿の東の海  
 岸を云ふ又御松雁水とも云ふ○  
 磯の清水る御殿山の麓清水横町  
 小あり○寄木明神ハ南品川の洲  
 寄あり○海晏寺ハ昔時紅葉の  
 名所たれども今ハ絶れ其跡を存  
 する而已北條時頼の石塔二階堂  
 出羽守の石塔梶原景時石塔北條  
 時宗石塔千貫牡丹千貫松等あり  
 ○殿頭明神社ハ砂水の海濱小あ  
 り○來福寺ハ砂水御林町より  
 境内延命櫻梶原松梶原塚あり○  
 納經塚ハ來福寺より六町計西小  
 あり○西光寺ハ來福寺の二丁計  
 南より庭前醍醐櫻あり○弘福  
 寺ハ西光寺の一町計西南小あり  
 了海上人産生湯井あり○鹿島大  
 明神ハ同一丁計西南小あり古



野口を截す○鈴森ハ幡宮と不入  
 斗村あり境内鈴石鳥石あり○  
 笠島ハ鈴森の地を云ふ○磯則松  
 々鈴森の社前海濱の人家あり  
 ○荒蘭崎ハ鈴森の辺を云ふ或る  
 本原山ハ景阪荒蘭磯とも云ふ○  
 鐵懸松ハ八景阪あり○女塚ハ  
 女塚村民太左工門と云ふ人の地  
 小あり○本門寺ハ池上村小あり  
 有名の大伽藍たり探幽墓研日蓮  
 大士終焉旧跡同鏡御影月臨滅度  
 時靠柱硯井日蓮大士石塔池上宗  
 往原郡之區

仲墓肉付齒骨紫石貞宗太刀等あり○千束池ハ本門寺西一里計あり○中延八幡宮々中延村あり○袈裟懸松千束池の傍あり○萬福寺々馬込村あり寺宝布袋鞍笠陣具梶原氏肖像證文一通あり○光明寺々鴨水村あり功德水荒塚塚眞藤葉羅扇一柄等あり○光明寺池々光明寺の南あり○新田明神々矢口村あり境内十騎十社鞍掛榎あり○古川茶師ハ古川村あり境内杉灵泉等あり○蒲田梅ハ蒲田村民家あり○羽田弁天祠々羽田村海濱あり眺望宜し○玉川ハ荏原郡の界あり香魚小名あり○夕日の固る目黒あり○太鼓橋も目黒あり○蛸薬師も目黒あり○目黒不動々瀧泉寺小有境内未社多く門前料理屋多し○獨鉆瀧々境



内あり○鹿無寺々門前ありて東昌寺と云ひ一と云ふ○千代ヶ崎々渋谷宮益町より目黒長泉律院へ行く道あり○裕天寺ハ目黒ありて大伽藍あり蜀江錦九條袈裟等あり○法華寺々碑文谷村あり○淨真寺も碑文谷あり亡香文撰待大茶金等寺寶たり○大平山奥澤新田村ありて岩の跡あり○満願寺々等々力村あり○馬引澤旧跡々上目黒世田谷村へ跨りあり○常盤橋々馬

引澤村の角あり○家徳禪寺と常盤橋より五丁計西あり臥龍櫻等あり

東多摩郡

此區々皇城の西ふあり東々南島郡小撓一北ハ北豊嶋郡連リ南ハ荏原郡西ハ神奈川縣北多摩郡ふり○代太橋ハ甲州街道秋窪の立場より三丁計先ふあり○甲州街道ハ上下高井村其驛路あり内藤新宿と距る二里計りあり○成碩禪寺々本郷村ふあり○中野長者墳墓々成碩寺の境内業林中ふあり○寶仙寺々中野村ふあり交趾國より貢獻せし馴象の枯骨あり○桃園觀芳堂ハ高圓寺村の高圓寺ふあり土人々之を桃堂と云ふ○桃園々中野村ふあり辨桃ふ一て毎春梅花の客雜沓せし今幾と其跡と絶つ元文年間の裁



村ふありて大寺たり日蓮大士の像あり十月頃々参詣者多し○大宮八幡宮々和田村ふありて長松多く世々名高し○善福寺の池々上井畑村ふあり其末流井畑川とふり神田上水小入る池水清瑩も

南豊嶋郡

此郡々皇城の西南ふあり北々北豊嶋郡隣り西々東多摩郡南々荏原郡東ハ麻布赤阪四谷牛込諸區ふ接す○太宗寺々内藤新宿右

側中程あり境内開墾堂あり一月七月の十六日ふ々参詣人あり  
 ○天龍寺に遷分より南あり○右衛門櫻ち柏木村あり○淀橋を成子宿と中野村との間あり  
 ○十二町権現社々角等村あり境内池あり滝ありて昔々遊観多  
 一○高田富士山々稻荷社の後小あり○宗良親王陣營旧址を宝泉寺の山林を指て其旧址とす○百八塚今其所在を知らず○高田馬場今々田圃となる○山吹里々高田馬場より北の方民家の辺と云ふ○荒蘭山々大窪諏訪の森との間と云ふ雲雀の名所なり○隣の橋り上水川に架す世々々々見の橋と云ふ○落合土橋々下落合村と上落合村との間あり此辺螢の名所なり○木花間耶姫社々小阪の中服あり○藤森稻荷社々

南谷村二十町神社



同一處岡の根小傍てあり車山稻荷と云ふ○泰寧寺は上落合村小あり

北豊嶋郡

此區は皇城の西北より南を南豊嶋郡東多郡と連り西隣王縣新座郡と隣り東北は荒川を隔て南足立南葛飾二郡と接す○鬼子母神堂々雅司谷村あり門前西側料理屋あり○法明寺は同一北の方小あり古刹なり○大行院は鬼子母神の別當なり○十羅利女堂

北豊嶋郡之郷

八樂鴨本村あり○板橋宿ハ中  
 仙道の首驛たり妓院對景店あり  
 ○飛蓮寺ハ慶學院と号す板橋街  
 道左側あり境内相生杉女男松  
 等あり○清水薬師ハ志村清水阪  
 の下あり○烟切榎ハ板橋宿よ  
 あり○一夜塚ハ清水阪の上畑の  
 中あり○吹上觀音堂々下新座  
 村あり古鰐口寺宝とり○長命  
 寺ハ上蘇馬村あり新高野又東  
 高野とも云ふ○三寶寺ハ上石神  
 井村あり○三寶寺の池ハ周回  
 凡五百三十余歩あり○三寶寺城  
 址ハ池の傍あり○練馬の城址  
 ハ愛染院の辺と云ふ○日暮里ハ  
 感應寺裏門のあたりより道灌山  
 あたり迄と云ふ○道灌山々上野  
 山の繼りて新堀町あり虫の音  
 と聞よよき處とす○飛鳥山ハ王  
 子村あり眺望よく櫻花よ名あ



今公園地とある○王子権現社  
 ハ飛鳥山の北りて音無川に隔て  
 あり鷹屋金千鳥屏風等を藏す○  
 王子稻荷社ハ同北の方あり古  
 々岸稻荷と云ふ○龍不動ハ龍川  
 村あり紅葉の名所なり○圓光  
 寺ハ根岸あり藤の名所とり世  
 藤寺と云ふ○十三坊塚妻夫塚三  
 つ塚等三河島村あり○碧花々  
 入谷よ多○巖山ハ長寺村よあ  
 り○千住南組ハ陸羽及日光街道  
 よりて妓院あり世之と古塚と云

南足立郡

此區々皇城の北にあり西南荒川を隔て北豊島郡に隣り東南に古隅田川に傍ひ中川を遊り六ヶ木村に至るまで南葛飾郡に接し北を埼玉縣北足立郡に連たり○千住大橋は荒川の流を架す○延命寺は下沼田村にありて古刹たり本尊阿彌陀佛を二阿彌陀佛二番目たり○浅間淵は足立姫湯の所ありと云ふ○十二天森の松方村にあり足立姫待女の死骸を収めて十二天と称す松方村の鎮守あり○西新井大師とも西新井村總持寺本尊弘法大師を云ふ八幡宮は六月村にあり○白旗塚甲塚攝鉢塚等に伊興村にあり○



明王院は梅田村にあり梅林寺と号す○鷲大明神社は花又村にあり

南葛飾郡

此郡は皇城の東にあり西は本町深川二區及び隅田川を隔て北豊島郡に對し北は足立豊島二郡に境し東は江戸川を隔て千葉縣に接し南は下総に隣り○三圍稻荷社々小梅村田中にあり境内兩河の硯其角堂養慈標等あり○牛御前王子権現社に同町北の方あり

千葉五郎胤道法華經千部供養  
 碑いづみ原あらし景季書等あり○長命寺を  
 遍照寺と号す境内長命水柳樹自  
 在庵旧址等あり○弘福寺ハ牛御  
 前宮の東隣より利羊旗天桂石あ  
 り隣及額有名のもの多し○庵寄  
 る秋葉権現社の辺と云ふ○秋葉  
 権現社を請地村よあり林泉幽邃  
 よして紅葉の名あり○蓮華寺の  
 寺島村よあり○白髭明神を隅田  
 堤の下よあり祭神ハ猿田彦命と  
 り○隅田川堤ハ熊谷よ至る迄凡  
 十六里あり故よ熊谷土手とも云  
 ふ天正二年小田原北條氏之と築  
 きたりと云ふ三圍邊より木母寺  
 の際迄櫻樹あり春晩ハ花穂を敷  
 か如し○都鳥ハ隅田川と名野と  
 す○木母寺を隅田川よありて隅  
 田院と号す○梅若丸塚木母寺境  
 内よあり○若宮八幡宮ハ若宮村



小あり文鏡書法華經二巻ありと  
 云ふ○西光寺ハ淡江村小あり○  
 清重相河ハ西光寺西の畑の中  
 あり葛西二郎墳墓の地と云ふ○  
 青砥左衛門第宅旧跡ハ青砥村小  
 あり○青砥左衛門山葵擦ハ農民  
 茂石衛門蔵せり○木下川薬師堂  
 々木下川村小あり○立石と立石  
 村小ありて名高し○普賢寺ハ上  
 千葉村小あり葛西六郎墳墓境内  
 小あり○善通寺ハ東小松川村小  
 あり○妙音寺ハ東一の江村小あ



有名から寶頭盧像あり○妙勝寺ハ西二江村小あり○淨興寺も上今井村小あり境内琴彈松あり○妙福寺ハ下鎌田村小あり○帝釈天王ハ柴又村小あり寺を題經寺と云ふ○夕顔觀音堂ハ飯塚村小あり○半田稻荷ハ金町村小あり○元八幡宮ハ砂村小あり深川富岡八幡宮の旧地より門前櫻樹多し○一蝶寺ハ海邊新田菰の内小あり○常行寺ハ龜戸村小あり本尊阿彌陀ハ六阿彌陀第六番目ふり○法恩寺ハ柳嶋出村小あり

掌中東京名所圖繪 終

東京下町村名

代官○祝田○室田○元千代田○大手○元寄○芥平○道三○錢屋○永永○八重洲○有本○外樽田○西日比谷○霞關○内山下○内幸○裏塚閣○三年○永田○靴町○内山本○内平河○元平河○靴町紀屋井○同車○同元園○一六番○中六番○下六番○富士見○坂田○神田區  
 一掃通○今川小路○南神保○北神保○表神保○裏神保○西小川○三寄○中猿樂○猿樂○裏猿樂○神田路○小川○駿ヶ臺南甲賀○同袋○同鈴木○同西紅梅○同東紅梅○神田淡路○美土代○三河○雉子○鎌倉○神田松下○皆川○神田關口○同樂燭○永富○旭○神田新張○同佐桐水○千代田○新石○神田堅大工○同多○西今川○神田塗師○同下白塗○松田○神田黒門○同小柳○西福田○同築物○美倉○東今川○神田枝水○東福田○元岩井○北築物○東樹屋○神田富山○東松下○同大和○同平永○同元柳原○同柳○岩本○東龍閣○豊嶋○江川○橋本○神田富松○同久右衛門○同宮本○同佐久間○臺○同和泉○同同朋○同花岡○同平河○同花房○同松永○同相生○同花田○同仲○同旅籠○同山本○同本廣○同榮○同元佐久間○同龜住○同松富○同五軒○同元久右衛門○同八名川○同御島○同松住○金澤○田代  
 日本橋區  
 本銀○本石○室○本○本石町十軒店○岩付○金吹○本城屋○本両管○駿河○瀬戸物○伊勢○北鞘○品川町裏河岸○本松○長濱○安針○本小田原○大傳馬場○鏡橋○小傳馬○大傳馬○通旅籠○通油○堀番○浜江○小舟○小網○田町○新大坂○元瀧○強生○新枝水○富沢○封屋○塚○若代○新和泉○高砂○新鼓○若○住吉○派華○小網町仲○元大坂○糠壳○松島○小傳馬上○龜井○馬喰○通塩○横山○吉川○元柳○新初○堀○築掛橋○米澤○村松○久松○若松○矢倉○濱○宮崎○箱崎○北新堀○通○西河津○元四日市○錦○万○青物○吳服○平松○佐内○元大工○新右衛門○川原石○數寄屋○箔屋○拾物○樽正○上棟○下棟○本枝水○坊○兩茶場○坂本○三代○北島○龜嶋

京橋區  
北橋○南橋○桶○南大工○南殿治○五郎兵衛○登○比  
紺屋○中橋廣小路○南傳馬○中橋和泉○大鋸○南鞘  
松川○鈴木○幣盛○良定○因幡○柳○水林水○坂○南  
紺屋○西紺屋○元敷寄屋○山下○山城○南佐柄水○加  
賀○八幡○丸屋○月○新倉○弥本橋門○紺屋○南鍋  
瀧山○惣十郎○日吉○金六○京橋水谷○銀坐○尾張町  
新地○尾張○竹川○出雲○南金六○三十間堀○水挽  
赤女○南八町堀○大富○新富○入舟○新築○新築○本  
湊○松松○明石○築地○南小田原○南飯田○上柳原○  
南本郷○佃島○松屋○高代○岡崎○元島○水谷○八町  
堀○永島○長澤○幸○日比谷○本八町堀○富島○南  
新地○吳坂島濱○同堀○同四日市○大川端○吳岸島  
○長崎○長岸島銀○越前堀○川口○東湊○新松松  
芝區  
芝口源助○露月○柴井○宇由川○同横○神明○芝瀨  
松○汐面○芝新築坐○同新網○同漢○同濱崎○今入○  
新築田○櫻田本郷新幸○二葉○琴平○南佐久間○櫻田  
太左衛門○同久保○同善若衛門○同伏見○善慶○岩  
備前○同鍛冶○同和泉○鳥森○日隆○西久保丹松○同  
巴○同寺手○同城山○同神谷○西久保廣○同八幡○同  
櫻川○同村○愛宕下○芝愛宕○同筑○同公園地○同三  
島○同宮本○同七軒○同中門前○同片門前○同土手跡○  
同森元○同新門前○同金杉○同金杉川口○同金杉濱○  
同金杉新濱○本芝○芝田○同車○高輪北○同南○下  
輪○芝新堀○同西應寺○本芝材木○同下○同入機○芝  
横新○同通新○同松本○同赤羽○三田四國○三田○同  
同朋○同羽達○同臺○同基養○芝伊豆子○同輪堂○  
同西臺○芝二本樓○三田小山○同網○同豐岡○同松坂  
○同北寺○同南寺○同老増○同君塚○白金志田○同臺  
○同接○芝二本樓○二本樓西○白金丹波  
麻布區  
飯倉○同狸穴○同片○麻布我首坊○同市兵衛○同仲○  
同谷○同笹笥○同今井○同三河臺○同永坂○同新網○  
同東島屋坂○同鳥居坂○同六本木○同宮下○同北日邊  
○同南日邊○同材木○同龍二○同新龍主○同網代○同  
坂下○一本松○同宮村○同枝田○同三軒家○同井  
段○同山本○同水村○同慶屋○同富士見○同盛岡○同  
西○同東○同竹谷○同新堀○同田島○渋谷○上原○同

上原區○麩尾  
赤阪區  
元赤阪○赤阪田○表○裏○新○仲○水○  
丹後○臺○水川○新阪○同繪○同繪吉○同池  
梅阪○交○吳岸阪○青山南○北○三筋○六  
軒○梅田原○高樹○淡谷宮原○神原

四谷區  
四谷御馬○傳馬町新○忍○同堀○同阪○  
北伊賀○同新堀江○同荒木○同舟○同渡住○同永住  
○同尾張○同中○同南伊賀○同南寺○同須賀○  
同左門○同東信濃○同右京○同大街○同平長○元敷河  
橋○同谷○同南○同七軒

牛込區  
市谷村○八幡○田○河原○佐上原○長  
延寺谷○左内阪○堀坂○加賀○山伏○甲良  
○柳○榮主寺前○中○同○同○同○  
久保兼丁○市谷富久○神樂○牛込音○同通寺○同夫來  
○同天神○同栗根○同板○同南坂○同井天○同早稲田  
○同早稲田南○同馬場下○同若宮○同袋○同音  
○同音○同南○同仲○同北○同盛岡○同新井○  
同細工○同南山伏○同北山伏○同二十騎○同原○同若  
松○同壽久井○同破損○同下家○同揚場○上宮北○  
同下宮北○同津久戸前○同築土八幡○同白銀○同西五軒  
○同東五軒○同赤坂元○同赤坂下○同築地○同改代○  
同水道○同中堅○同山吹○同高田

小石川區  
小石川○香自○新坂方○同諏方○同法川○同大  
和○同水道○同大門○同表○同仲○同西富坂○同上富  
坂○同仲富坂○同下富坂○同堀差○同初音○同柳○  
堀除○同積谷○同山前○同戸崎○同金富○同同  
○同竹早○同久堅○同原○同林○同大原○同丸山○同宮  
下○同大塚建○同大塚阪下○同大塚仲○同大塚上○同  
大塚辻○同新小川○同西江戸川○小日向武島○同水道端○  
同塚六天○同若荷谷○同清水谷○同同水道○同三  
軒○同康古川○同西古川○同松ヶ枝○同小日向櫻水○同  
羽○同西宮柳○同康清柳○同閑口水道○同野井○同櫻水○同音  
○同高田老松○同豊川○同雜司合○同龜原○同仲○同堀能  
○堀能



夕方○流沢○世田ヶ谷利新町○該卷○世田ヶ谷○赤堤  
○谷原○上北沢○經堂在家○用買○瀬田○野良田○上  
野毛○下野毛

東多摩郡村名

中野○本郷○上高田○片山○荒井○下沼袋○上沼袋○  
江古田○下鷺宮○上鷺宮○雜色○和田○堀ノ内○和泉  
○永福寺○田端○馬橋○高岡寺○成宗○下秋窪○上秋  
窪○下高井戸○上高井戸○久我山○中高井戸○松庵○  
大宮前新田○天沼○阿左ヶ谷○下井脚○上井脚

南豊島郡村名

内藤新宿○同北町○同番馬家町○同北裏町○同添地町  
○同南町○榮大久保○西大久保○大久保百人町○下戸  
塚○早稲田○中里○牛込○添共衛○諏方○戸塚○上落  
谷○下落谷○葛谷○柏木○角筈○幣ヶ谷○代々木○千  
駄谷○葛田○上落谷○原宿○中落谷○下落谷

北豊島郡村名

地芳橋町○地方今戸町○千住南組○三ノ輪○千谷  
泉寺町○麗泉○千束○阪本○金杉○三河島○町屋○下  
尾久○上尾久○谷中○谷中水○新堀○豊島○扇  
船方○上中里○中里○田端○下駒込○上駒込○駒込  
井町○同紗袋坂下町○西ヶ原○龍野川○王子○下  
○上十條○神合○下村○岩間木宿町○袋○赤羽○池袋  
○本蓮沼○小宮沢○志○小石川○後藤○新田原○内  
雑司ヶ谷○高田○高田善榮○同千登世○雜司ヶ谷出  
池袋○金井建○中丸○下板橋宿○上板橋宿○板橋○前  
野○中野○西ヶ原○根葉○上蓮沼○徳丸水○徳丸脇○四  
ツ葉○下赤塚○上赤塚○成増○下練馬○上練馬○中野  
井○同谷原○田中○下玉支田○上玉支田○下石神井  
上石神井○關

南足立郡村名

千住中組○千住北組○本木○堀ノ内○沼田○宮城○小  
笠○鹿沼新田○鹿沼○谷在家○加々木沼○高野○鹿野  
○西新井○舎人町○古千谷○八谷○伊興○栗原○堀田  
○嵐根○竹塚○保木間○六月○小右衛門新田○内匠  
田○花又○久右衛門新田○長左衛門新田○辰沼新田  
久左衛門新田○六ツ木○佐野新田○大谷田○長右衛門  
初田○浦原○光三谷○普賢寺○伊藤谷○五兵衛新田○  
藤兵衛新田○次郎左衛門新田○孫五郎新田

南葛飾郡村名

小梅○須崎○中ノ郷○請地○小村井○大畑○木ノ下○  
寺嶋○差左衛門○若宮○隅田○堀切○小谷野○柳原○  
小菅○下千葉○上千葉○砂原○龜有○青戸○室木塚○  
篠原○四ツ木○澁谷○川崎○梅田○平原○淡野須○立  
石○原○上木下川○下木下川○鶴西川○龜戸○柳島○  
押上○深川○毛利新田○中ノ郷○平方○北本町出  
○南本町出○又兵衛新田○秋新田○太郎兵衛新田○中  
田新田○大塚新田○龜高○治兵衛新田○久左衛門新田  
○入右衛門新田○海辺新田○永代新田○千田新田○石  
小田新田○平井新田○砂村新田○八郎右衛門新田○西  
松浦○東船堀○西字喜田○泉守喜田○長島○桑川○下  
今井○上今井○二ノ江○東一ノ江○西一ノ江○東小松  
川○西小松川○上小松下小松○上一色○本一色○興ノ  
宮○松本○鹿骨○新堀○一ノ江新田○谷河内○上藤田  
○当代高○前野○下藤田○伊勢屋○下篠島○上篠島○  
征ヶ崎○柳田○曲金○鎌倉新田○上小岩○中小岩○下  
小岩○柴又○新宿町○金町村○上小合○小岩田○下小  
合○小合新田○猿ヶ又○飯塚○伊豫田

名山水池井谷淵瀑一覽

飛鳥山○道灌山○椿山○丸山○天神山○御殿山○船山  
○五郎兵衛山○雷盆山○星野山○青山○赤山○番神山  
○赤旗山○鉢山○城山○半蔵山○大日山○小山○赤山  
○妙龜山○合海山○駒込富士山○上野山○三笠山○具  
真土山○田山○愛宕  
鏡金水○極楽水○稻荷清水○柳茶ノ水○抄籠水○佛水  
○慈願水○神仙水○鹿島清水○星筋清水○常盤清水  
○不忍池○溜池○千束池○井ノ頭池○姥ノ池○鏡ヶ池○  
共玉池○守宮ノ池○放生池○碑文谷池○寺町ノ池○柳  
ヶ谷池○雄子宮池○金玉誕生池

白糸瀧○朝霧瀧○不動瀧○玉川瀧○狹狹瀧  
堀熱ノ井○小路町ノ井○磯ノ井○大井○堰ヶ井○柳水  
屋敷ノ井○櫻ヶ井○朝比奈井○常陸院旧井○阿加ノ井  
鎌ヶ谷ノたたら瀧○別ノ瀧○はらみ瀧○鎌ヶ瀧○厚  
ろ瀧○牛ヶ瀧

清水谷○善國寺谷○地蔵谷○市ヶ谷○養頭谷○長延寺  
谷○四谷○龜前坊谷○神仙谷○鶴谷○千駄谷○傘谷○  
三谷○渋谷○柳ヶ谷○小日向清水谷○樹木谷○碑文谷  
世田ヶ谷○戒行寺谷○茗荷谷○推司ヶ谷○指ヶ谷○下  
谷○三ツ屋谷○入り谷○鶯谷○浄泉寺谷○御馬屋谷○



三ノ自ラ手携へ得ル者無貨ナレドモ若シ損失ヲ自  
 ラ負フニ其餘ノ手携荷物ハ目百二十斤迄ノ銀以六  
 十斤迄ノ行毎三五斤ヲ加フ允出番ヲテシヨリ越セバ  
 例モ其半貨銀ヲ辨荷物料(引渡)受取証書ヲ取置  
 ベシ但ハ二付目百六十斤迄ヲ限リ入ノ手携荷物料  
 ナリ姓名又ハ目印ヲ記スシテ旅客中乗車ヲ得ル得  
 ガル車内ニ場内ノ有無ニ依リシテ六一定付貨銀千  
 五銭川崎ヲ越ヘカハ其半貨銀ヲ拂フシ併シ旅客  
 車積入ル許サズ大箱或ハ車長ノ車ニシテ運送スシ  
 本首輪道口網ヲ備ヘテ相渡スシテ發車時限ラ  
 急ラザルタメ時限ノ三分前ニテスルシヨリ  
 扉スシ及烟車ノ外ハ烟州ヲエルサス〇午後十時  
 後別社立列車出發ヲ要スルモノハ當日十時限リ  
 新橋鐵道局へ申出ヘシ 鐵道局

貨金		新橋		品川		大塚		大森		川崎		大森		大塚		品川		新橋	
大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人	大人
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五
二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十
二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五
三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十
三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五
四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十
四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五
五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十
五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五
六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十
六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五
七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十
七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五
八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十
八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五
九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十
九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五
百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百

中仙道派車賃銀表

從	到	野上	王子	浦和	上尾	鴻巣	熊谷	深谷	本庄	新町	高崎
野上	王子	浦和	上尾	鴻巣	熊谷	深谷	本庄	新町	高崎	高崎	高崎
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五	十五
二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十	二十
二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五	二十五
三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十	三十
三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五	三十五
四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十	四十
四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五	四十五
五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十	五十
五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五	五十五
六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十	六十
六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五	六十五
七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十	七十
七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五	七十五
八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十	八十
八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五	八十五
九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十	九十
九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五	九十五
百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百	百

小児満四歳迄ハ無貨満十二歳迄ハ半貨金旅客自ラ預券  
 係リ其手携入得ル者手携品を入れたる小包  
 別ノ類ハ無貨其他の手携荷物ハ此限ニテ



仙臺堀	油堀	吳岸島新堀	八町堀	三十間堀	芝新堀	関堀	筭堀	三崎堀	新門堀	根津堀	源兵衛堀	梅堀	船入堀	五間堀	六間堀	山谷堀	三味線堀	浅草新堀	稻荷堀	薬研堀	堀一覽
仙臺	油	吳岸島	八町	三十間	芝新	関	筭	三崎	新門	根津	源兵衛	梅	船入	五間	六間	山谷	三味線	浅草新	稻荷	薬研	堀一覽
松平陸奥守殿蔵	深川	小島	八丁堀	稲荷堀	赤坂	三田	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂	赤坂

白	柴	真	向	三	回	築	泉	田	增	虎	芝	幸	山	敷	鍛	西	御	洲	深	新	永	五	吳	新	隅	猿	三	牛	秋	兩	淺	上	葛	東	上	萬								
金	又	の	島	三	向	地	地	八	上	門	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下						
清	帝	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷	荷					
公	釋	内	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若	若				
一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一			
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里		
余	位	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半		
六	内	待	目	平	愛	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕	夕		
阿	藤	乳	不	天	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山		
弥	新	布	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	
陀	宿	布	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	
八	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里	里
余	余	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	

里程概表





賣來橋	中石	元木	今川
福島	洲崎	平の	三三間堂
江の島	扇	金岡	木
さき川	水	うたえ	長丁
扇町	永代寺前	いん	ひ
石寺橋	まつ	長井	八幡
坂	水	吉岡橋	平の
手橋	松村	久	輪
仙居	松	松島	いづ
福長橋	島	角久橋	うめ
上中	佐賀	西田	富田
万年	正永	清海	言
山城橋	川	高橋	森
新高橋	南	松井	六間
橋	大	川	角
橋	終	寺	通
		丁	丁

乗車賃金左之通 但し本社ヨリ日本橋迄同賃  
 一等車 一區城内運賃の半、金二錢  
 二等車 二區城内運賃の半、金四錢  
 三區城内運賃の半、金六錢  
 一區城内運賃の半、左の通り  
 新橋 日本橋間 一區城  
 日本橋 萬世橋間 一區城  
 萬世橋 上野山下間 一區城  
 上野山下 淺草橋間 一區城  
 淺草橋 淺草橋間 一區城  
 淺草橋 日本橋間 一區城  
 在明治廿九年七月改正後  
 東京馬車鐵道會社

明治十四年四月二日版權免許  
 同十七年四月一日再版御届  
 價金五錢

東京府平民  
 著述人 谷 壯太郎  
 神田區皆川町  
 五番地

東京府平民  
 出版人 加藤正七  
 日本橋區船物町  
 八番地

發兌人 山中市兵衛  
 同 山中孝之助  
 同 山中北郎  
 同 石川治兵衛  
 同 江島喜兵衛

東京發賣書肆

北島茂兵衛 小笠原書房  
 稻田佐兵衛 吾妻屋書店  
 円源吉 潛心堂  
 小林新兵衛 松田幸助  
 丸家善七 覺張米三郎  
 阪上善七 金花堂  
 須原鉄二 錦光堂

寶來橋	中石丁	元水丁	今川丁
福島橋	とぎ丁	平の丁	三三間堂
江の島橋	洲崎	金岡	木
さき川橋	扇	うねえ	ぎ長丁
扇町橋	木	いん	
石青橋	永代寺前	長井	八幡
板橋	まつ丁	吉岡橋	平の丁
千代橋	松村丁	松島	ひつ
千代橋	松平	龜久橋	うめ久丁
福長橋	仙の堀	西田	富田丁
上中下	佐賀丁	清海	吉永丁
万年	正水橋	高橋	森下丁
山城橋	やうり前	いよ	六間堀角
新高橋	川つぎ	松井	川つぎ
中の	もに	さ	い
新高橋	南	あ	おさ
橋つ	大畧終	寺丁	通丁

乘車賃金左之通 但し本社ヨリ日本橋迄同額  
 一 一等車 一區域内通車の方) 金 二 錢  
 二 二等車 二區域内通車の方) 金 四 錢  
 三區域内通車の方) 金 六 錢  
 一 區域内定むる左の通り  
 新橋 日本橋間 一區域  
 日平橋 萬世橋間 一區域  
 高世橋 上野山下間 一區域  
 上野山下 淺草橋間 一區域  
 淺草橋 日本橋間 一區域  
 右記各區域は、  
 右記各區域は、  
 東京馬車鐵道會社

明治十四年四月二日版權免許  
 同 十七年四月一日再版御届

東京府平民  
 著述人 谷 壯太郎  
 神田區皆川町  
 五番地

東京府平民  
 出版人 加藤正七  
 日本橋區槍物町  
 八番地

發兌人  
 同 山中市兵衛  
 同 山中孝之助  
 同 山中北郎  
 同 石川治兵衛  
 同 江島喜兵衛

東京發賣書肆

北島茂兵衛	小笠原書房
稻田佐兵衛	吾妻屋書店
円源吉	潛心堂
小林新兵衛	松田幸助
丸家善七	覺張米三郎
阪上善七	金花堂
須原鉄二	錦光堂

